

宮崎市政モニター

令和2年度第3回アンケート集計結果

(令和3年2月実施分)

第3回アンケート

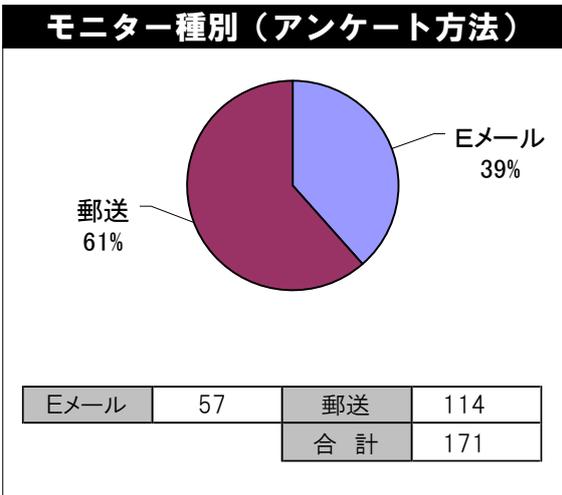
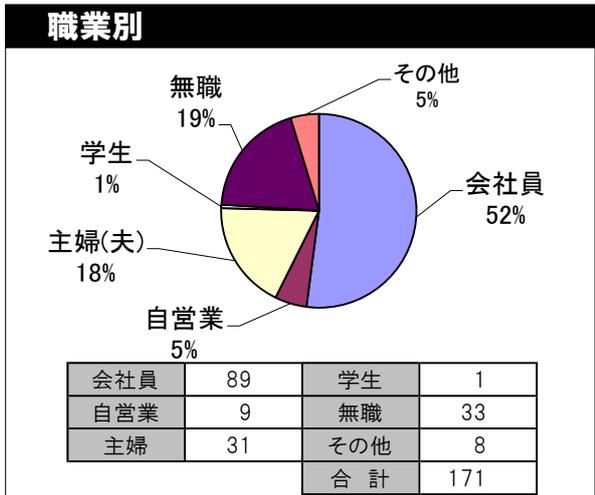
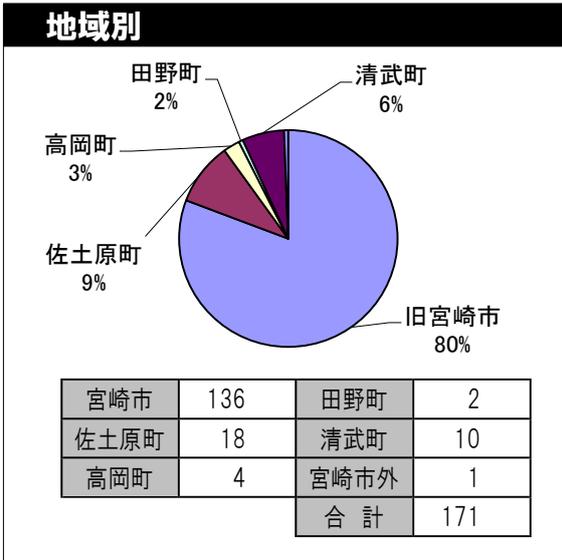
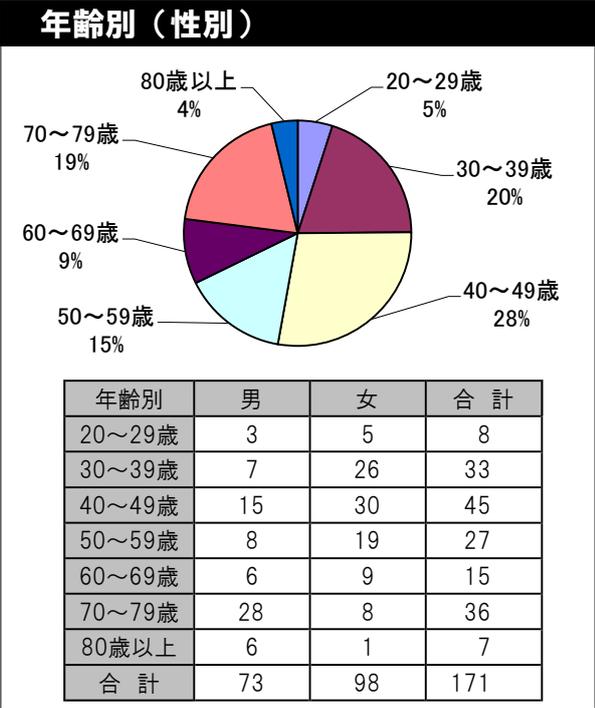
- | | |
|---|-----|
| ① 「市政広報」に関するアンケート調査 | … 3 |
| ② 「中心市街地活性化」に関するアンケート調査 | …13 |
| ③ 「食と農林水産業」に関するアンケート調査 | …24 |
| ④ 「指定喫煙所の在り方」及び「美化推進区域・路上喫煙制限区域」に関するアンケート調査 | …32 |

宮崎市秘書課広報広聴室

令和2年度 第3回宮崎市政モニターアンケート調査概要

(1)調査担当課	①企画財政部 秘書課 広報広聴室 ②観光商工部 商業労政課 ③農政部 農政企画課 ④環境部 廃棄物対策課
(2)活動内容	①「市政広報」に関するアンケート調査 ②「中心市街地活性化」に関するアンケート調査 ③「食と農林水産業」に関するアンケート調査 ④「指定喫煙所の在り方」及び「美化推進区域・路上喫煙制限区域」に関するアンケート調査
(3)調査期間	令和3年1月25日～令和2年2月5日 ※終了後も一定期間回収
(4)送付数	184人(郵送モニター119人、e-モニター65人)
(5)回答数	171人(郵送モニター114人、e-モニター57人) 回答率:93%

モニター属性（回答者）



「市政広報」についてのアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

宮崎市では、広報紙やテレビ、ラジオ、SNS、そして報道機関への情報提供などを活用して、効率的かつ的確な広報活動に取り組んでいます。今回の市政モニターアンケートを行うことによって、より良い市政広報を行うための基礎資料とし、今後の活動の改善などを行います。

◆ 調査の概要

- (1) 調査期間 令和3年1月25日～令和3年2月5日 ※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 184名
- (3) 提出者数 170名 (回答率 92.39%)
- (4) 担当課 企画財政部 秘書課 広報広聴室

◆ 調査結果の考察

問1

市政に関する情報源については、広報紙が高い比率となっており、多くの方の情報源となっていることが伺える。新聞やテレビでの報道による情報の入手も多いことから、マスコミ各社へ積極的に情報提供を行っていくことも効果的であることが分かる。

問2～5

広報紙の中身について、興味があるものについては、「特集記事」が最も多く、次いで「情報広場」となっている。興味がないものについては突出しているものはなかった。また、広報紙を見て「イベントに参加したことがある」または「問い合わせをしたことがある」との回答も一定数あった。今後も継続して調査を行い、市民が興味を持たれる内容を研究していく。

問6～12

広報紙の文字の大きさや言葉遣い、読みやすさについては、現状で問題ないとの回答が多かった。今後も継続して分かりやすさを求めていき、読みにくさの解消に繋げていく。

問13～16

広報紙の入手方法については「自治会を通じての配布」が最も多くあった。今年度については、コロナ禍により広報紙の回覧が遅れることがあったことから、今後はホームページからの閲覧周知の強化に加え、ほか媒体でも補うことができるように工夫する必要がある。

問17～18

テレビのデータ放送の利用については、その利用者は半数であった。利用方法としては「緊急情報」が最も多かった。

問19～21

SNSの調査については、5つのSNS全てで過去の調査結果より利用者が増加しており、今後も増加が予想される。しかし、宮崎市のSNSの利用率は少ないため、効果的なSNSの発信を継続して行えるよう努めていく。

問22～24

暮らしの便利帳のあり方については「広報紙への掲載」が最も多く、次いで「ホームページへの掲載」、「作成する必要はない」であった。

◆ 調査結果のまとめ

・市政情報の入手方法として、一番高い「広報紙」については、今回のアンケート結果を参考にしながら、今後も継続して分かりやすさ、読みやすさを求めて制作していく。

・市から届けたい情報がその対象者に届くように、また、市民が欲しいと思う情報がその時に入手できるように、広報紙をはじめホームページやSNS、新聞、テレビ、ラジオ等の様々な媒体を通しての広報活動をその特性や対象者を考慮しながら行っていく。

◎調査結果

集計結果の数値(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は、比率の合計が100%を超える。

1. 「市政情報の入手方法」について、おうかがいします。

問1 日ごろから市政に関する情報やお知らせなどは、どのようなもので目にしますか(または耳にしますか)。テレビ・ラジオ・新聞による報道を含め、当てはまるものをすべて選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	市広報みやざき(広報紙)	145	87.3%
2	市新聞広告(宮崎市政からのお知らせ)	84	50.6%
3	市ホームページ	68	41.0%
4	市政ラジオ	34	20.5%
5	フェイスブック(SNS)	15	9.0%
6	ツイッター(SNS)	8	4.8%
7	ライン(SNS)	18	10.8%
8	インスタグラム(SNS)	3	1.8%
9	ユーチューブ(SNS)	14	8.4%
10	暮らしの便利帳(タウンページ冒頭)	30	18.1%
11	デジタルTVデータ放送(MRT)	25	15.1%
12	自治会便による回覧	76	45.8%
13	新聞記事(報道)	76	45.8%
14	テレビのニュース(報道)	97	58.4%
15	ラジオのニュース(報道)	47	28.3%
16	その他	3	1.8%
回答者数計		166	-

■「その他」のご意見

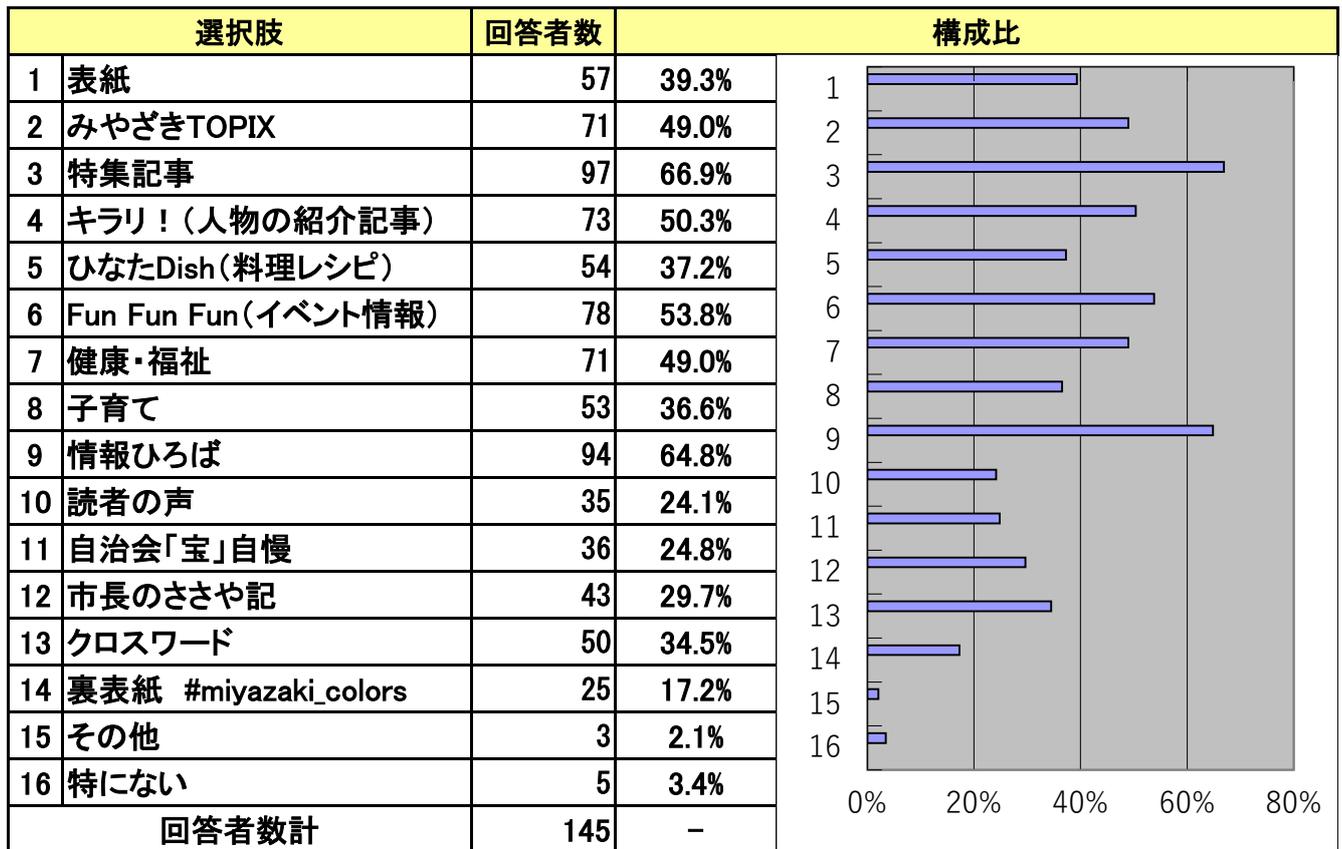
・インターネット上のニュース

2. 広報紙に関することについて、おうかがいします。

問2 広報紙はどの程度読んでいますか。あてはまるものを1つ選んでください。

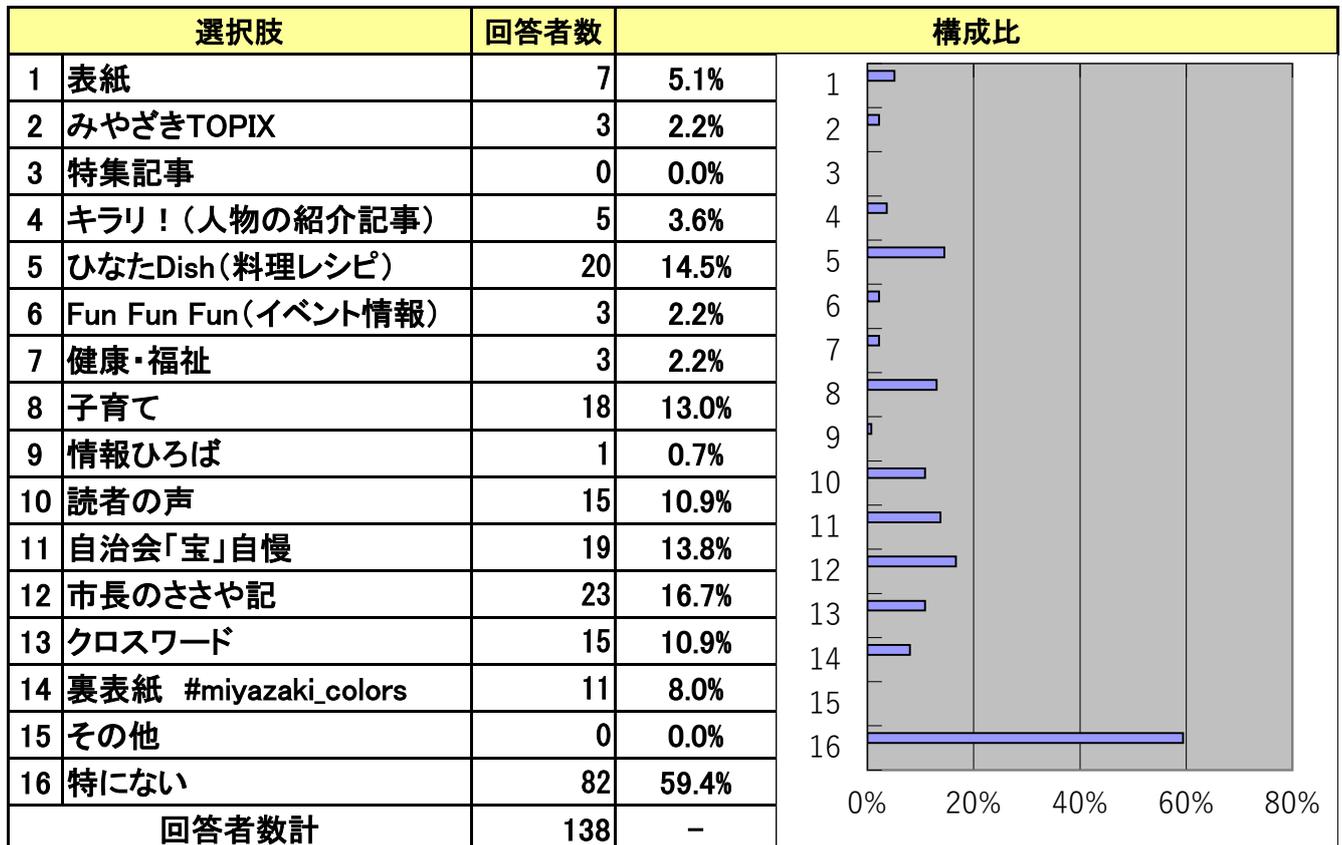
選択肢		回答者数	構成比
1	ほとんど全部読む	77	45.6%
2	興味のある記事だけ読む	67	39.6%
3	読まない	25	14.8%
回答者数計		169	-

問3 広報紙のページ(記事)で興味があるものを、すべて選んでください。



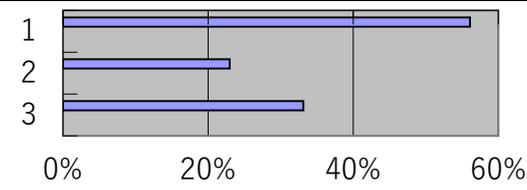
■「その他」のご意見 ・プレゼントコーナー

問4 広報紙のページ(記事)で興味がないものを、すべて選んでください。



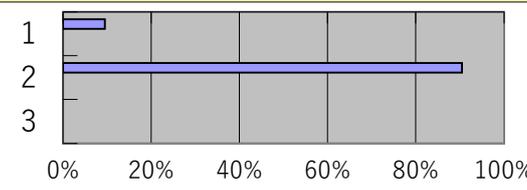
問5 広報紙を見て、イベントに参加したり、担当課に問い合わせたりしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	イベントに参加したことがある	83	56.1%
2	担当課に相談・問い合わせしたことがある	34	23.0%
3	ない	49	33.1%
回答者数計		148	-



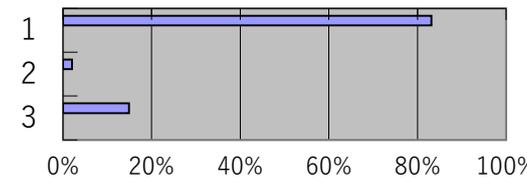
問6 広報紙の文字の大きさについて、どのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	もっと大きいほうがよい	14	9.5%
2	ちょうどよい	133	90.5%
3	もっと小さくてもよい	0	0.0%
回答者数計		147	-



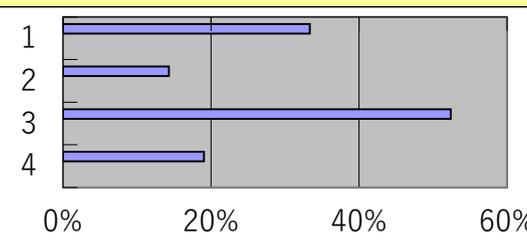
問7 広報紙の言葉遣いについて、どのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	分かりやすい	123	83.1%
2	分かりにくい	3	2.0%
3	どちらともいえない	22	14.9%
回答者数計		148	-



問8 分かりにくい理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

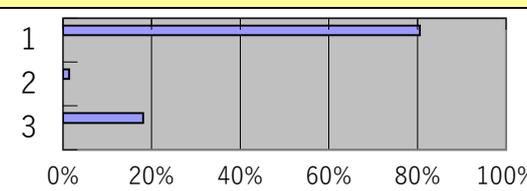
選択肢		回答者数	構成比
1	カタカナ言葉が多い	7	33.3%
2	難しい言葉が多い	3	14.3%
3	言い方がまわりくどい	11	52.4%
4	その他	4	19.0%
回答者数計		21	-



■「その他」のご意見 ・内容によって分かりやすかったり分かりにくかったりする。

問9 広報紙の読みやすさについて、どのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	読みやすい	116	80.6%
2	読みにくい	2	1.4%
3	どちらともいえない	26	18.1%
回答者数計		144	-



問10 「問9」の答えを選んだ理由を教えてください。

■読みやすいと回答した方のご意見

- ・読みにくいと感じたことはない。
- ・色づかい文字の大きさともにちょうど良いと思う。
- ・デザインが雑誌のように手に取りやすく読みやすく感じる。
- ・全てにおいて、端的に書かれているので、わかりやすいと思う。

■読みにくいと回答した方のご意見

- ・重要な情報の文字が小さく、欄も狭い。写真が大きすぎるときがある。
- ・どの年齢でも見やすくしてほしい。

■どちらともいえないと回答した方のご意見

- ・もっと若い世代がわかりやすい言葉だったり、興味をもつような内容文章にしたほうがいい。
- ・記事によって違うのでどちらとも言えない。
- ・テーマによっては簡単に説明出来ないこともある。宮崎市は合併により大きくなりすぎて住民寄り添った記事内容にするのはもはや困難だと思う。小さな市町村の広報紙は表現が柔らかいし、身近に感じる。
- ・字の大きさ等は特に問題ないと思うが、少し硬いイメージ(ポップさが無い)がする

問11 広報紙の内容についておうかがいします。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	理解できる	72	48.6%
2	おおむね理解できる	72	48.6%
3	ときどき理解できないことがある	3	2.0%
4	ほとんど理解できない	1	0.7%
回答者数計		148	-

問12 現在、広報紙の表紙は、どのような表紙がいいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	特集記事に関係がしたもの	49	33.1%
2	特集記事とは関係なく、季節感を感じるもの	61	41.2%
3	どちらでもいい	32	21.6%
4	その他	6	4.1%
回答者数計		148	-

■「その他」のご意見

- ・宮崎市に関し、その時の旬な話題性のあるもの。
- ・宮崎市にとって将来の宝である幼児、児童・生徒の姿や活動状況など。
- ・miyazakiの表紙文字にやや違和感がある。

問13 現在、広報紙は、自治会を通じて加入者宅へ配布しているほか、公共施設や金融機関などに設置しています。あなたは、どのような方法で広報紙を入手していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	自治会を通じて自宅に配布	111	75.0%
2	市役所庁舎(総合支所、地域センター、地域事務所を含む)	7	4.7%
3	市立公民館など、上記2以外の公共施設	12	8.1%
4	宮崎銀行・太陽銀行・宮崎都城信用金庫・高鍋信用金庫・JA宮崎中央	5	3.4%
5	郵便局	7	4.7%
6	コンビニエンスストア	5	3.4%
7	スーパーマーケット	0	0.0%
8	フィットネスクラブ	1	0.7%
9	市ホームページで閲覧	5	3.4%
10	その他	3	2.0%
11	入手していない	3	2.0%
回答者数計		148	-

■「その他」のご意見 ・身内に見せてもらう。

問14 病院に閲覧用の広報紙を置いています。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	待ち合いのときに利用した(読んだ)ことがある	51	35.2%
2	置いているのは見かけたが、利用した(読んだ)ことはない	53	36.6%
3	置いているのを見たことがない	41	28.3%
回答者数計		145	-

問15 広報紙の全戸配布の必要性についておうかがいします。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	経費や手間がかかっても、全戸配布すべきだ	42	25.0%
2	手間や経費がかかるのであれば、全戸配布にはこだわらなくてもよい。市の施設や金融機関などで、自由に持ち帰ることができるようにしてあればよい	102	60.7%
3	分からない	9	5.4%
4	その他	20	11.9%
回答者数計		168	-

■「その他」のご意見 ・自治会員には配布すべきですが、未加入者は独自で手に入れる努力をしてほしい。

・自分は市の施設等で読めるが、高齢者、身体の不自由な人等は不便なので全戸に配布が望ましいと思う。

・ブログのように1度登録すれば、いつでも見られるようなネット配信や登録したメールアドレスに送信されるようなシステムがあれば嬉しい。

問16 その他、広報紙についてのご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

■ ご意見の一部

- ・宮崎市に住んでまだそんなに経っていないので色々な情報とてもありがたいです。
- ・健康づくりに関するコラムがあると運動意欲がたかまります。子どもと一緒に読める内容や政治のTopicsがあると小さい頃から行政や政治に関する関心を高められると思います。
- ・小・中学校の活動の紹介があってもいいなと思います。子どもがいないと、なかなか学校のことは分かりづらいので「地域で子育て」を実践するためにも、自分たちが住んでいる近くの子どもたちが通う学校はどのような雰囲気なのか、とかをもっと周知してもいいと思います。
- ・ネットで確認でもよいかと思います。自治会の経費、手間を考えたらネットでも十分です。
- ・明るい未来についての話題等を多く掲載してほしい。
- ・雑誌的な市報になっているので、もう少し市民目線の広報紙としてもらいたい。カラー面が多く、経費がかかっているように見える。写真より情報を多くしてほしい。

3. テレビのデータ放送利用状況についておうかがいします。

問17 宮崎市のデータ放送を利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	利用したことがある	78	47.0%
2	利用したことがない	88	53.0%
回答者数計		166	-

問18 上記のデータ放送のうち、どの項目を利用されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	緊急情報	65	81.3%
2	お知らせ	39	48.8%
3	イベント	25	31.3%
4	地域の行事	13	16.3%
5	子育て	9	11.3%
6	健康福祉	9	11.3%
回答者数計		80	-

4. SNSの利用状況についておうかがいします。

問19 利用しているSNSは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	Twitter(ツイッター)	38	23.0%
2	Facebook(フェイスブック)	52	31.5%
3	LINE(ライン)	121	73.3%
4	Instagram(インスタグラム)	50	30.3%
5	YouTube(ユーチューブ)	86	52.1%
6	その他	2	1.2%
7	利用していない	35	21.2%
回答者数計		165	-

問20 以下の宮崎市のSNS公式アカウントの中から、閲覧したことがあるものをすべて選んでください。また、閲覧したことがあるものは閲覧する頻度も教えてください。

Twitter(ツイッター)

選択肢		回答者数	構成比
1	閲覧したことがない	144	88.3%
2	月に数回	14	8.6%
3	週に数回	1	0.6%
4	1日1回以上	4	2.5%
回答者数計		163	-

Facebook(フェイスブック)

選択肢		回答者数	構成比
1	閲覧したことがない	135	82.8%
2	月に数回	22	13.5%
3	週に数回	5	3.1%
4	1日1回以上	1	0.6%
回答者数計		163	-

LINE(ライン)

選択肢		回答者数	構成比
1	閲覧したことがない	136	83.4%
2	月に数回	9	5.5%
3	週に数回	11	6.7%
4	1日1回以上	6	3.7%
回答者数計		163	-

Instagram(インスタグラム)

選択肢		回答者数	構成比
1	閲覧したことがない	152	93.3%
2	月に数回	7	4.3%
3	週に数回	1	0.6%
4	1日1回以上	3	1.8%
回答者数計		163	-

YouTube(ユーチューブ)

選択肢		回答者数	構成比
1	閲覧したことがない	134	82.2%
2	月に数回	19	11.7%
3	週に数回	7	4.3%
4	1日1回以上	3	1.8%
回答者数計		163	-

問21 市からのお知らせとして、SNSで発信してほしい情報を教えてください。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	災害や避難などに関する緊急的な情報	105	65.6%
2	市が主催するイベントや講座などの情報	45	28.1%
3	子育てや健康・福祉などの情報	27	16.9%
4	観光情報	21	13.1%
5	まちづくり政策に関する情報	14	8.8%
6	市長からのメッセージ	9	5.6%
7	その他	9	5.6%
回答者数計		160	-

■「その他」のご意見

- ・ごみの収集に関わる情報等
- ・テイクアウト特集

5. 暮らしの便利帳(現在タウンページ冒頭に掲載)についておうかがいします。

問22 暮らしの便利帳について、あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	活用したことがある	46	28.6%
2	活用したことがない	115	71.4%
回答者数計		161	-

問23 これからの「暮らしの便利帳※」のあり方について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

選択肢		回答者数	構成比
1	経費がかかっても、「冊子(紙ベース)」で作成してほしい	15	9.1%
2	内容を絞って「広報紙」に掲載してほしい	50	30.5%
3	自治会の回覧で「ちらし」のかたちで作成してほしい	19	11.6%
4	「ホームページ」上に掲載してほしい(紙ベースでの作成の必要はない)	44	26.8%
5	作成する必要はない	34	20.7%
6	その他	5	3.0%
回答者数計		164	-

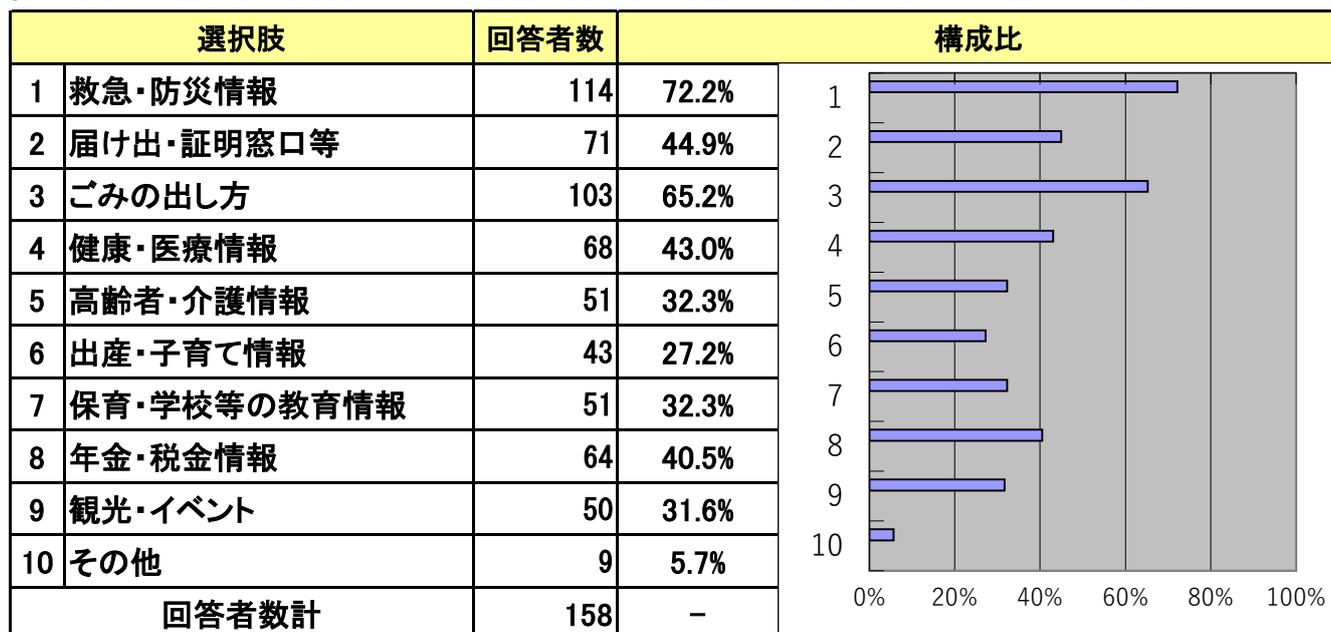
■「その他」のご意見

・ネット環境にない方や紙媒体になれている方も多いと思うので、どれか一つではなく、回覧のチラシにのせ、同じものをPDFとか用いてネット掲載してくれると興味のある方は情報が取れてよいと思う。

・非常に見にくいので、是非改善してほしい

・SNSを活用できる世代と紙面からしか情報を得られない世代とに両極化していると思う。大きな台風が来るという時にご近所の老人が避難所等の確認に来られた。その時は防災マップを見せて色々教えたが何かまとめた冊子があると便利だと思う。

問24 暮らしの便利帳に掲載してほしい情報は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



6. 最後に、おうかがいします。

問25 市が行う広報活動全般について、ご意見やご提案などがあれば、自由にご記入ください。

■ ご意見の一部

- ・市報などは、特定の世代しか利用していないイメージが強い。若者たちも興味を持てるような広報、また内容の刷新が必要ではないかと思う。
- ・もう少し、SNS(FacebookやLINE)を積極的に活用した方が良いのと、一方的に発信するだけでなく、市民がもっと気軽に市への要望を言えるシステム(市政モニターとは別に、目安箱や請願コーナーのような仕組み)も設置して欲しいです。
- ・新型コロナウイルスの市としての情報が不足しているように思います。特別でも会報として流すことで理解できると思います。
- ・情報発信する機会を多く出してほしい。特に新型コロナ禍の中だからこそSNSの利用、工夫をお願いしたい。
- ・個人の関心のある情報名のみを予め登録しておき都合のいい時間に個人のスマホで記事を見られるような情報提供方法はいかがですか？
- ・LINE情報について緊急事態宣言が出されている中、観光やお出掛け情報は不安。我慢している意味がない。
- ・コロナの影響で広報紙が配布できなかったり予定していたイベントが行えないなどご苦労が絶えないことと思います。しかしながら、このような時だからこそその広報活動もあると思います。市民に寄り添った情報発信をしていただけることを望みます。
- ・沢山の方が利用しやすいように、紙媒体の経費を削減しながらSNSの情報などアピールしていただきたい。
- ・SNSやテレビコマーシャル等を活用して、もっと目立った広報活動をしてほしいと、私は思います。
- ・何事もシンプルにすることを第一に心掛けて、行政事務の効率化を図って下さい。市民の全ての要望に最大限応えることはやめましょう！最小限の対応で充分です。重要事項と思われる課題に精力を注いで下さい。職員の皆様のご健闘を祈念しています。
- ・情報を早くほしい分野とそうでない分野でうまくわけて更新してもらえたらいいと思います。災害などの急を要するものなどは積極的にSNS(Facebook、インスタ、ツイッター、ライン)をうまく活用してほしいです。
- ・細かな事でもいいので、お知らせしてほしい。
- ・テレビ(ローカル番組やコマーシャル)でたくさんの情報を繰り返し発信したら良いのでは。広報誌読者はテレビ世代の方が多いと思うので。
- ・宮崎市内の人はもちろん、市外の人へも情報発信出来ればいい。逆に市外、県外の情報もあればおもしろい。
- ・あらゆる媒体を通して広報され感謝しています。今後も創意工夫を駆使しての拡散をお願いします。

◎ 調査結果

集計結果の数値（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は、回答者数を母数とする。

問1 あなたのお住まいは、上の図の中心市街地区域内にありますか。

選択肢	回答数	構成比
① 中心市街地区域の中にある	3	1.8%
② 中心市街地区域の外にある	166	97.1%
無回答	2	1.2%
計	171	100%

問2 中心市街地に出かける回数について、あてはまるものを1つだけ選んでください。
(中心市街地区域内にお住まいの方は、区域内のお店などに出かける場合を想定してお答えください。)

選択肢	回答数	構成比
① 週3回以上	29	17.3%
② 週1～2回	25	14.9%
③ 月2～3回	32	19.0%
④ 月1回程度	25	14.9%
⑤ 2～3か月に1回程度	21	12.5%
⑥ ほとんど行かない	36	21.4%
計	168	100%

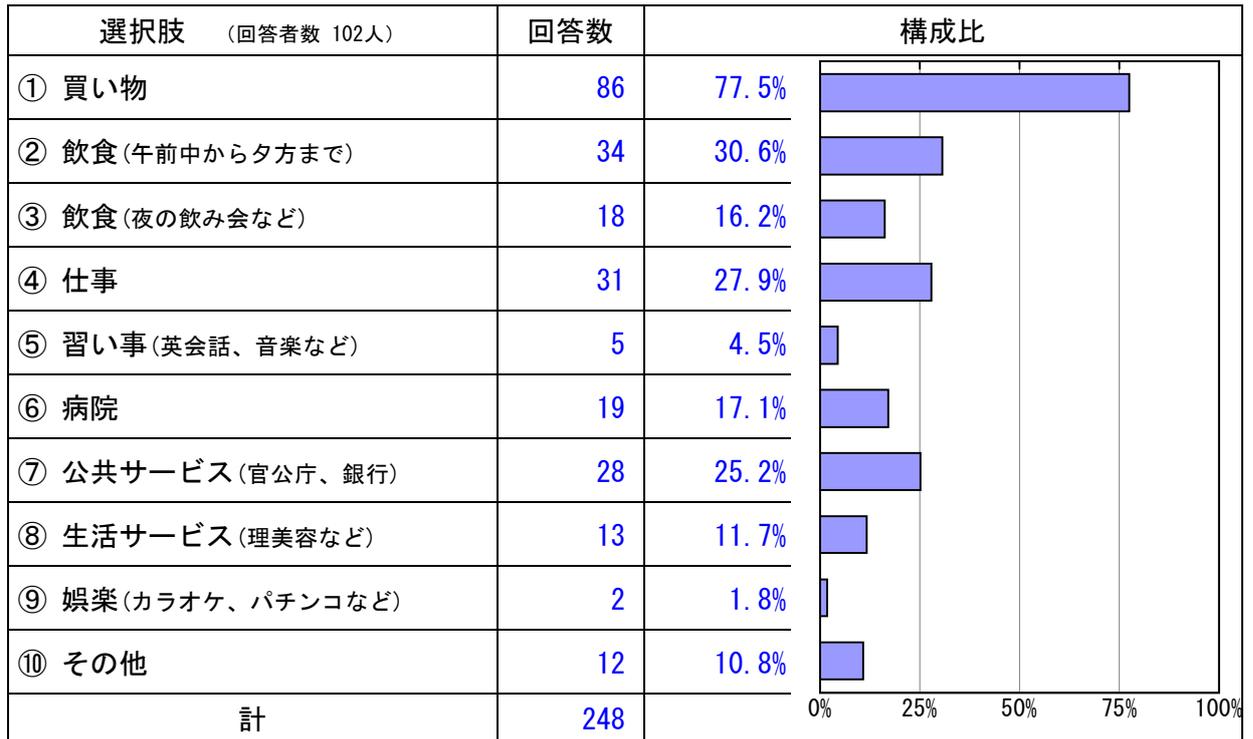
【問2で「①週3回以上」、「②週1～2回」、「③月2～3回」、「④月1回程度」と回答した方のみ回答】

問3 中心市街地に出かける主な交通手段を2つまで選んでください。

選択肢 (回答者数 102人)	回答数	構成比
① 自家用車	84	75.7%
② 電車・バス	33	29.7%
③ タクシー	0	0.0%
④ バイク	2	1.8%
⑤ 自転車	26	23.4%
⑥ 徒歩	16	14.4%
計	161	

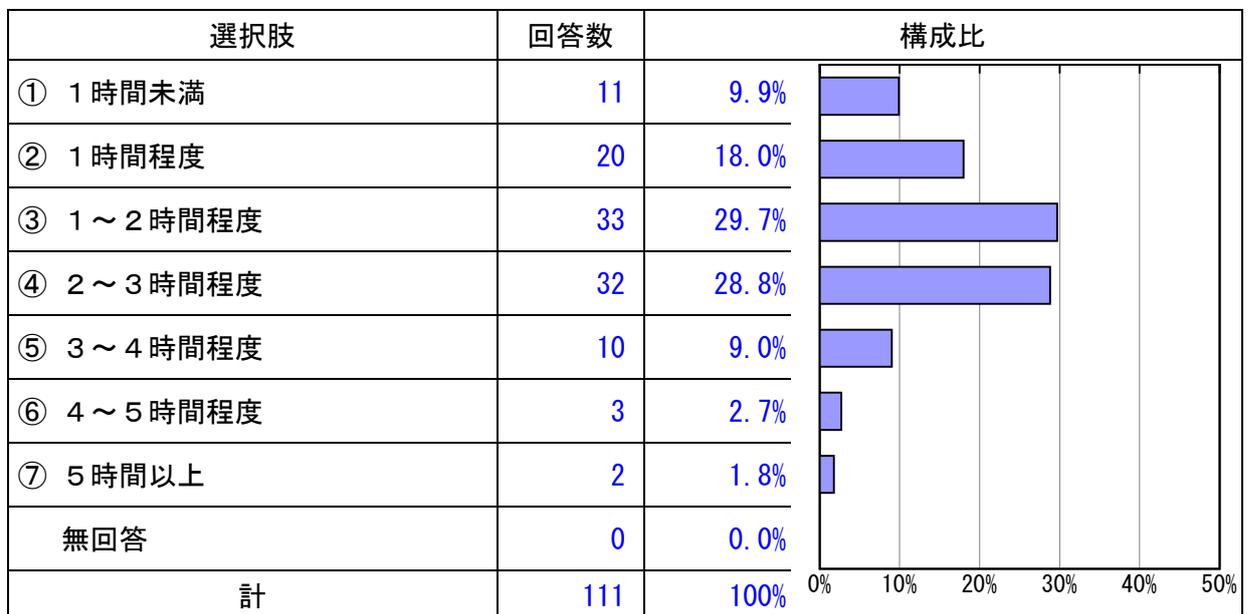
【問2で「①週3回以上」、「②週1～2回」、「③月2～3回」、「④月1回程度」と回答した方のみ回答】

問4 中心市街地に出かける主な目的を3つまで選んでください。



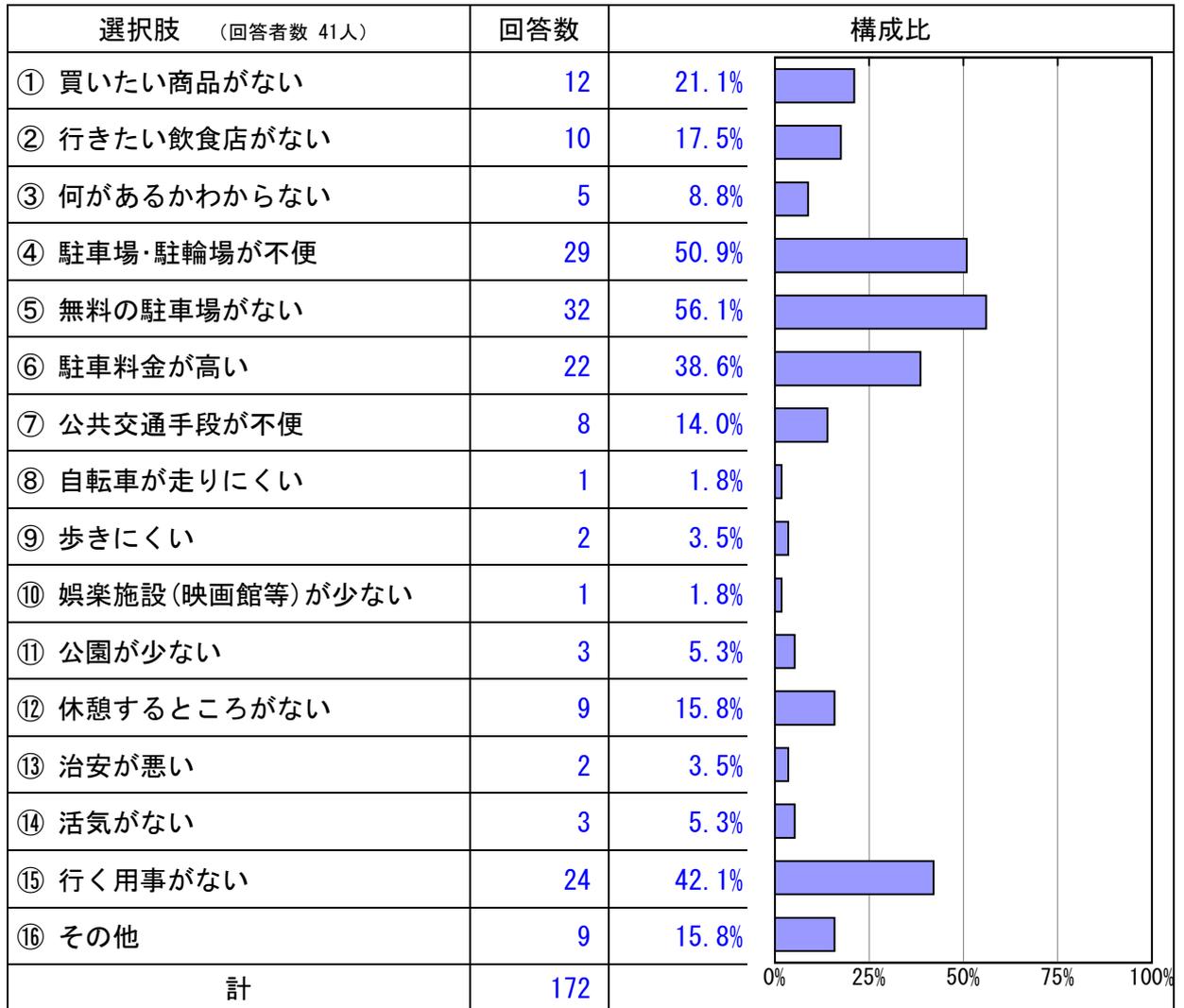
【問2で「①週3回以上」、「②週1～2回」、「③月2～3回」、「④月1回程度」と回答した方のみ回答】

問5 仕事以外で中心市街地に出かけた場合の平均的な滞在時間を1つだけ選んでください。



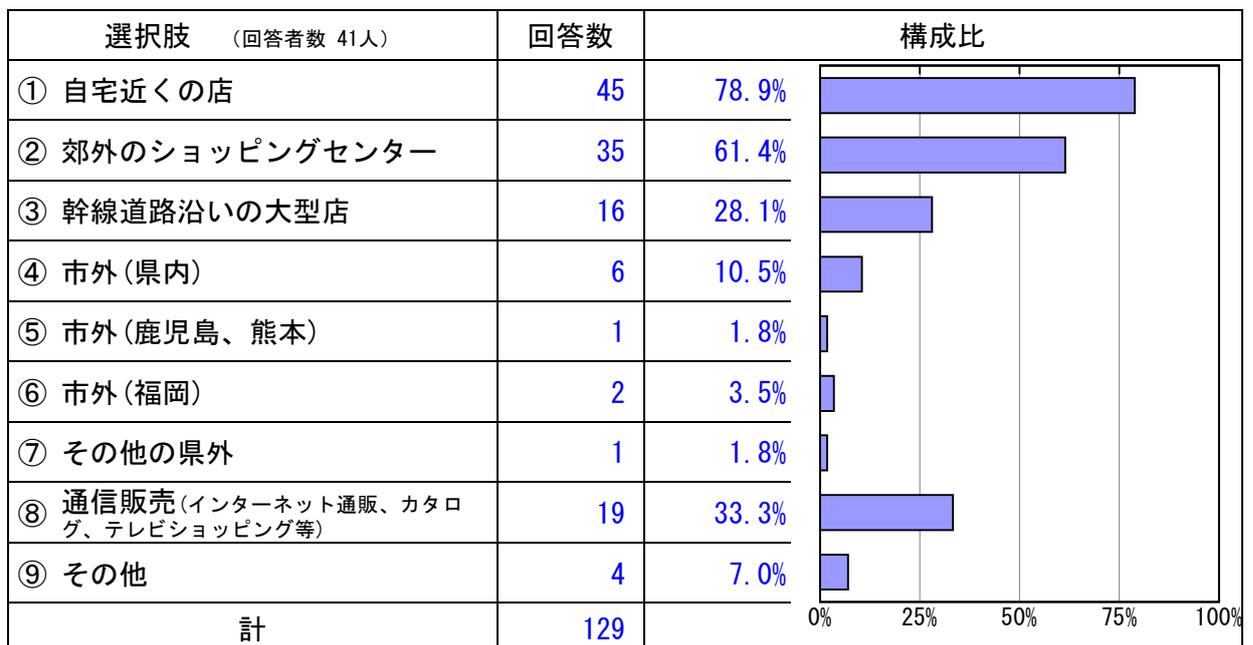
【問2で「⑤2～3か月に1回程度」、「⑥ほとんど行かない」と回答した方のみ回答】

問6 中心市街地に行かない理由について、あてはまるものすべて選んでください。

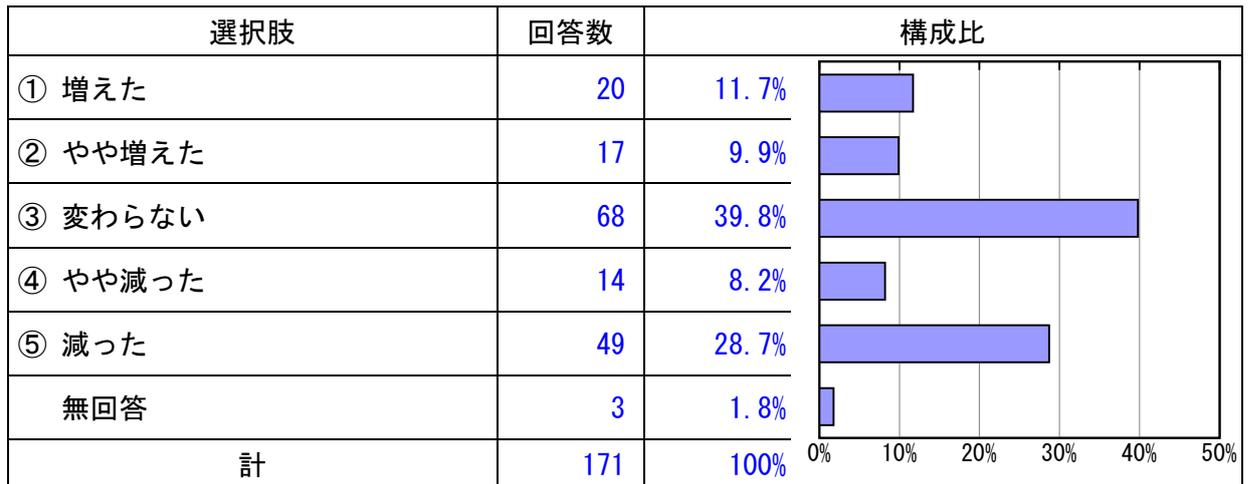


【問2で「⑤2～3か月に1回程度」、「⑥ほとんど行かない」と回答した方のみ回答】

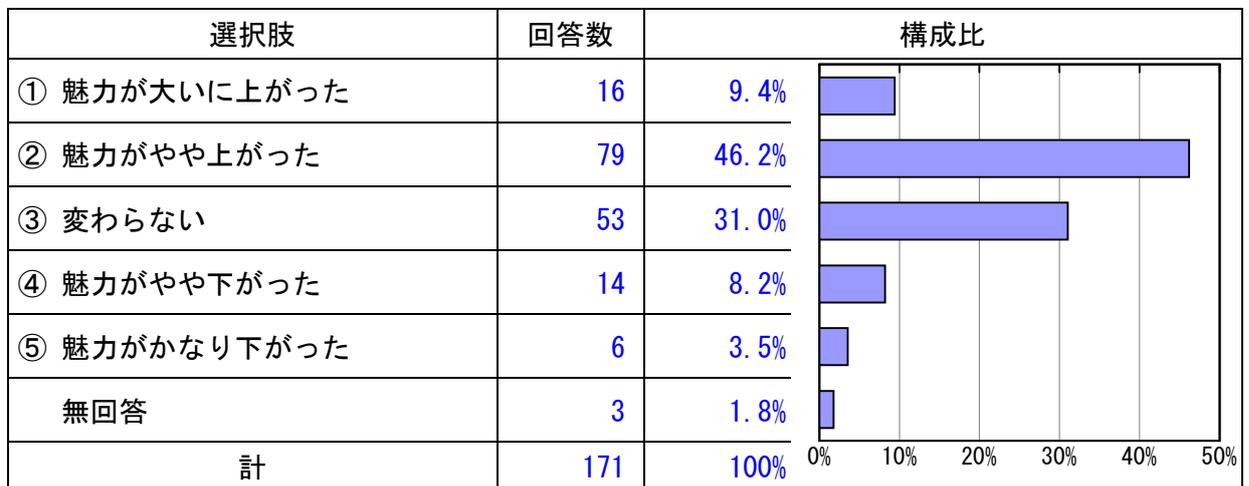
問7 (中心市街地以外で) 買い物や飲食をする場所について、3つまで選んでください。



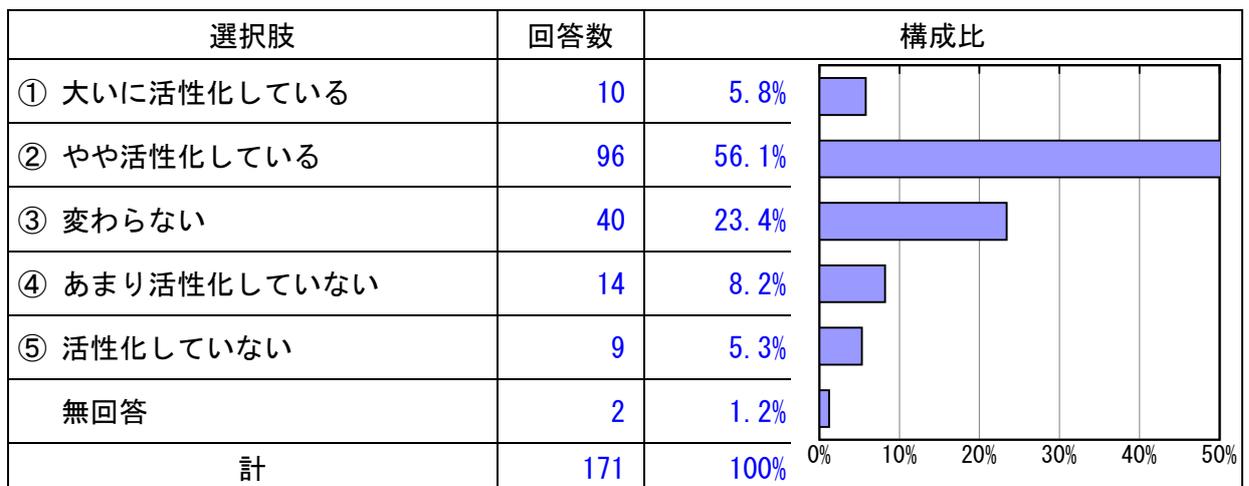
問8 5年前と比べて、中心市街地に出かける機会の変化について、あてはまるものを1つだけ選んでください。



問9 5年前と比べて、中心市街地の魅力はどう変化したかについて、あてはまるものを1つだけ選んでください。



問10 5年前と比べて、中心市街地は活性化していると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。



問11 宮崎市では、雇用創出による中心市街地の活性化(“マチナカ3000”プロジェクト)を進めています。“マチナカ3000”プロジェクトについてご存知ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
① 知っている	39	22.8%
② 知らない	130	76.0%
無回答	2	1.2%
計	171	100%

問12 下記の項目について、あなたが感じる現状の満足度を「思う」から「思わない」までの5段階でお答えください。

項目	現状の満足度					無回答
	高い	↔			低い	
	思う	やや思う	どちらとも いえない	そんなに 思わない	思わない	
1. クリエイティブ産業の集積と雇用の拡大						
① クリエイティブ産業等(ICT関連産業等)の企業誘致が進み、創業しやすい街	4	39	73	36	15	4
	2.3%	22.8%	42.7%	21.1%	8.8%	2.3%
② 産学官金等の多様な団体が連携して新しいビジネスが生まれたり、中小企業の事業引継ぎが円滑に行われている街	3	27	73	51	17	0
	1.8%	15.8%	42.7%	29.8%	9.9%	0.0%
③ ワーク・ライフ・バランスが普及し、人材の確保・定着や働きやすい環境が整備された街	2	31	75	45	18	0
	1.2%	18.1%	43.9%	26.3%	10.5%	0.0%
④ 保育環境の充実やテレワーク、短時間労働等の多様な働き方が進み女性の就労支援が進み、若者は地元企業への就職・定着やU I Jターンによる人材確保や人材育成の充実した街	3	23	60	60	24	1
	1.8%	13.5%	35.1%	35.1%	14.0%	0.6%
2. まちなか居住環境の充実						
⑤ 空き家や空き店舗等を活用して店舗やオフィスの集積、居住機能が充実した街	5	31	52	54	25	4
	2.9%	18.1%	30.4%	31.6%	14.6%	2.3%
⑥ 老朽化した民間建築物が集まる地区(文化マーケット地区や青空ショッピングセンター等)の対策が適切に進んでいる街	4	29	61	55	20	2
	2.3%	17.0%	35.7%	32.2%	11.7%	1.2%
⑦ 民間のマンションが建築されることで、まちなか居住が進んでいる街	11	72	50	26	11	1
	6.4%	42.1%	29.2%	15.2%	6.4%	0.6%
⑧ 魅力ある商業施設や商店街が集まり、商業機能が充実している街	4	66	56	30	13	2
	2.3%	38.6%	32.7%	17.5%	7.6%	1.2%
⑨ ごみのぽい捨てや路上喫煙防止に加え、子育て世代から高齢者まで多世代に優しい生活環境が整備されている街	14	71	49	29	8	0
	8.2%	41.5%	28.7%	17.0%	4.7%	0.0%
⑩ 宮崎らしい景観づくりが進むとともに、大規模火災や震災などに備えた防災・減災対策がとられた安全・安心な街	9	48	70	31	12	1
	5.3%	28.1%	40.9%	18.1%	7.0%	0.6%

項目	現状の満足度					無回答
	高い	↔		低い		
	思う	やや思う	どちらとも いえない	そんなに 思わない		
3. 憩い・交流する場の創出						
⑪ 魅力的なイベントが行われている街	6	61	51	36	16	1
	3.5%	35.7%	29.8%	21.1%	9.4%	0.6%
⑫ 道路や公園等を利用して、学生や若者を中心としたイベントなどが行われている街	3	41	62	45	19	1
	1.8%	24.0%	36.3%	26.3%	11.1%	0.6%
⑬ 子ども達がまちなかに関わる、学ぶ機会の多い街	2	18	78	48	23	2
	1.2%	10.5%	45.6%	28.1%	13.5%	1.2%
4. まちなかを訪れる楽しさの創出						
⑭ 地元産の素材を使用する地産地消の取組が進み、「食」等の魅力の向上により観光客が行きたくなる、観光客を案内したくなる街	13	45	68	34	8	3
	7.6%	26.3%	39.8%	19.9%	4.7%	1.8%
⑮ 「ニシタチ」を中心とした観光資源が活用されるとともに、快適に過ごせる繁華街環境が整備された街	10	36	77	27	20	1
	5.8%	21.1%	45.0%	15.8%	11.7%	0.6%
⑯ 公共交通等や自転車、シェアサイクル等の充実に加え、歩きたくなるまちなか環境が充実することで、円滑かつ快適に移動できる街	9	56	59	32	14	1
	5.3%	32.7%	34.5%	18.7%	8.2%	0.6%
⑰ 駐車場や駐輪場が、適切な場所に適切な台数確保された利便性の高い街	6	34	54	44	27	6
	3.5%	19.9%	31.6%	25.7%	15.8%	3.5%
⑱ 高齢社会の進展に対応したバリアフリーへの配慮やわかりやすい案内の整備された街	3	20	70	46	30	2
	1.8%	11.7%	40.9%	26.9%	17.5%	1.2%

問13 下記の18項目の対策のうち、今後特に重要であると考える項目を5つまで選んでください。

選択肢 (回答者数 147人)	回答数	構成比
① クリエイティブ産業等(ICT関連産業等)の企業誘致対策や創業しやすい対策	31	18.1%
② 産学官金等の多様な団体が連携して新しいビジネスを生み出す対策や、中小企業の事業引継ぎが円滑に行われる対策	27	15.8%
③ ワーク・ライフ・バランスを普及させる対策や、人材の確保・定着や働きやすい環境を整備する対策	54	31.6%
④ 保育環境の充実やテレワーク、短時間労働等の多様な働き方が進み女性の就労支援を進める対策や、若者の地元企業への就職・定着対策、U I Jターンによる人材確保や人材育成を充実させる対策	64	37.4%
⑤ 空き家や空き店舗等を活用して店舗やオフィスの集積、居住機能を充実させる対策	78	45.6%
⑥ 老朽化した民間建築物が集まる地区(文化マーケット地区や青空ショッピングセンター等)の対策	43	25.1%
⑦ 民間のマンション等の建築を進め、まちなか居住を誘導する対策	12	7.0%
⑧ 魅力ある商業施設や商店街が集まり、商業機能を充実させる対策	56	32.7%
⑨ ごみのぼい捨てや路上喫煙防止に加え、子育て世代から高齢者まで多世代に優しい生活環境を整備する対策	68	39.8%
⑩ 宮崎らしい景観づくりや、大規模火災や震災などに備えた防災・減災対策	74	43.3%
⑪ 魅力的なイベントを増やす対策	46	26.9%
⑫ 道路や公園等を利用して、学生や若者を中心としたイベントなどを行える対策	34	19.9%
⑬ 子ども達がまちなかに関わる、学ぶ機会を増やす対策	35	20.5%
⑭ 地元産の素材を使用する地産地消の取組や、「食」等の魅力の向上に向けた対策	41	24.0%
⑮ 「ニシタチ」を中心とした魅力向上と、快適に過ごせる繁華街環境に向けた対策	8	4.7%
⑯ 宮崎駅周辺の再開発が予定されている中で、公共交通の充実や、まちの回遊性を向上させるための新たな取組、歩きたくなるまちなか環境の充実などの利便性の高いまちづくりに向けた対策	40	23.4%
⑰ 駐車場や駐輪場を、適切な場所に適切な台数確保する対策	52	30.4%
⑱ 高齢社会の進展に対応したバリアフリーへの配慮やわかりやすい案内を整備する対策	26	15.2%
計	789	0% 10% 20% 30% 40% 50%

問14 中心市街地の活性化に関する事業の認知度について、あてはまるものを選んでください。

項目	知っている		知らない	無回答
		参加・利用・見たことがある		
① 買物などのために車で来やすくするために、お客様がどこの駐車場に止めても同じような割引が受けられるよう、共通駐車券の仕組みがあります。	48	48	73	2
	28.1%	28.1%	42.7%	1.2%
② 楽しい街・にぎわいのある街になるよう、橋通りや高千穂通りを歩行者天国にした音楽祭やまつりが開催されています。	88	72	8	3
	51.5%	42.1%	4.7%	1.8%
③ 文化的な潤いのある街になるよう、絵画などをお店のショーウィンドウに展示（まちかどギャラリー）したり、市街地の公共空間に彫刻を設置（パブリックアート）したりしています。	51	35	82	3
	29.8%	20.5%	48.0%	1.8%
④ きれいな街並みをつくるため、市民ボランティアが橋通りなどの花壇に定期的に花を植えています。	95	48	25	3
	55.6%	28.1%	14.6%	1.8%
⑤ ごみのない美しい街にするため、市では、橋通り・一番街・若草通をごみのポイ捨てや歩行喫煙の禁止区域にしています。	86	30	51	4
	50.3%	17.5%	29.8%	2.3%
⑥ 中心市街地の駐車場不足を解消し、来街しやすい環境にするため、官民共同による大型立体駐車場「Y・Y PARK」を整備しました。	65	63	40	3
	38.0%	36.8%	23.4%	1.8%
⑦ 文化芸術の創造体験や鑑賞・発表を行う機会と、中心市街地での交流の場を提供するため、「みやざきアートセンター」を整備しました。	69	80	19	3
	40.4%	46.8%	11.1%	1.8%
⑧ 魅力ある商店街とするため、宮崎駅前商店街の電線地中化やカラー舗装を行い、街路灯やベンチを備えたコミュニティ道路「あみーろーど」として再整備しました。	85	59	23	4
	49.7%	34.5%	13.5%	2.3%
⑨ 宮崎駅周辺のにぎわい創出や交通利便性の向上のため、駅の西口に、飲食店や企業、ホテルなどが入る複合施設「KITEN」や、バスターミナル、立体駐車場などを官民連携で整備しました。	94	61	14	2
	55.0%	35.7%	8.2%	1.2%
⑩ 宮崎のまちなかのにぎわい創出のため、毎月第4土曜日に一番街と若草通で「街市」を開催しています。	66	44	58	3
	38.6%	25.7%	33.9%	1.8%
⑪ 宮崎のまちなかのにぎわい創出のため、まちなかの様々な情報を発信する「よってんプラザ」が若草通にあります。	62	36	71	2
	36.3%	21.1%	41.5%	1.2%
⑫ 宮崎での創業を支援するため、橋通東4丁目に創業支援施設として「みやざき創業サポート室(愛称：みやざき STARTUP HUB)」を設置しています。	25	6	138	2
	14.6%	3.5%	80.7%	1.2%
⑬ 若者の地元定着やUIJターンを推進するためのスマートフォンアプリ「20do」(にじゅうど)を作成し、宮崎の魅力あるワーク・ライフの発信やプロモーション事業を展開しています。	22	3	142	4
	12.9%	1.8%	83.0%	2.3%
⑭ 道路空間や公園等を活用したイベント等の開催を支援することで、イベントを通じて若者や多様な世代が集まる「場」をつくる取組を進めています。(まちなかの回遊性向上促進事業(公共空間活用促進事業))	21	8	137	5
	12.3%	4.7%	80.1%	2.9%
⑮ 2020年秋のアミュプラザ宮崎開業に向けた中心市街地の回遊性向上のため、電動低速バス(グリーンスローモビリティ)の運行を開始しました。(まちなかの回遊性向上促進事業)	112	29	28	2
	65.5%	17.0%	16.4%	1.2%

問15 中心市街地のまちづくりについて、自由な意見をお書きください。

(主な意見)

- ・ 駐車場料金が安い。買い物金額に対しての割引も少なく、人の来る場所にするための工夫をして欲しい。子連れだと移動時間もかかり滞在時間が長くなる。
- ・ 最初の30分無料の駐車場が増えると街を利用する人が増えると思う。
- ・ 駐車料金が気になってのんびりと過ごせない。本当は時間を気にせずに街中を楽しみたい。
- ・ 駐車場料金を安くするだけで気軽に立ち寄れる場所になりもっと行きたくなると思う。
- ・ 1時間無料の駐車場があると中心市街地に行く機会が増えると思う。100円バスカは良い方策だと思う。
- ・ 以前と比べ街が活性化してきたと思うが駐車場代が気になる。駐車場にレンタルサイクルを併設して移動の時間短縮を図れないか。
- ・ JRとバスの統合運用、自家用車用の駐車場対策と循環バスの活用、道路の一方通行化などの積極的な対策を長期的かつ総合して行う工夫が必要だと思う。
- ・ 交通の便が大事。バス会社も赤字覚悟では増便ができないと思うため自治体と連携してバスの利用が増えるような路線の検討・増便も含めて検討して欲しい。企業誘致も交通の便が良くなることで取りくみしやすくなると思う。
- ・ コロナによる路線バスの大幅な減便により市街地利用や市街地を経由しての通勤通学の利便性が低下している。市としてこれ以上支援できないのであれば逆に完全自動運転のインフラ整備を他の自治体に先駆けて実施し、自動運転車の開発企業の実証実験を積極的に誘致する等、より移動しやすい街にしなければと思う。
- ・ バスで行こうと思っても便数が少なかったり最終便がすごく早かったりで使いづらい。車で送迎してもらったり代行を使ったりすることが多い。郊外に住めば中心街周辺に来るのが億劫になると思う。加えて、車で来ても中心部で移動しやすい取組が必要と思う。
- ・ 旅行者や転勤で来た人は中心市街地でその地方の大きさを測ると思うため、アミュの開業が良い方向に向かうと良い。共通の駐車券や駐輪場・シェアサイクル等もっと使用方法や場所などを告知すべき。ごみが少なく寄せ植えなどキレイだと思う。街中散策イベントがもっとあると良い。
- ・ 路地裏の小さなお店も個性がありワクワク感もあるため街の魅力だと思う。それぞれ区域ごとの元々の雰囲気を生かしてそれぞれの個性ある区域がつけられると良いと思う。どの区域も駐車場料金問題があるためそのハードルが下がれば街歩きをする機会も増えると思う。
- ・ 子連れでも行きたくなるような中心市街地にして欲しい。駐車場は子育て世代はカードを見せたら無料等にして欲しい。中心市街地の情報がなかなか伝わってこない。
- ・ 電動低速バスをもう少し広範囲に運行して欲しい。
- ・ 電動低速バス「ぐるっぴー」もせっかく誕生したのに乗っている人が少ないと聞く。お店を作ったりバスを走らせるだけではなくどうすれば利用してもらえるか使用したいと思えるか考えてみて欲しい。
- ・ 電動低速バスのコースや乗降場所が分からず利用しにくい。
- ・ アミュができて賑わいができた。電動低速バスも運行し活性化したと思う。コロナがなければもっと活性化したと思うがこれからも客の足が遠のかないようイベント等を行いながら賑わいをつなげていければと思う。
- ・ 街中に休憩スポットがあると良い。(ベビーカー連れで入れるトイレ等)アートセンターがとて好き。子どもが芸術に親しむ機会が都会と比べると少ないため、定期的に行きたくなるようなイベントを開いて欲しい。
- ・ 空き家・空き店舗を県内外の方へ、イベント開催時等にアピールし移住の積極的な発信及び企業誘致をして欲しい。
- ・ 人が中心市街地に魅力を感じて動かないといけないため、魅力をどう引き出せるかが大事。イベントの開催も考えられるがコロナが収束しないと難しいのではないかと。春に花を中心市街地に飾り散策・回遊できるようなことなら可能か。そこにテイクアウトグルメや小物販売ぐらいならできそう。

- ・ 中心市街地における学生のチャレンジの場不足がある。そうしたことが行える場の提供を行う、若しくは民間企業に委ねる必要がある。また、若者がチャレンジする際に融資を受けてからの起業スタートはハードルが高いため、一日レンタルショップやシェアショップ等小さく始めることのできる機会の提供が必要。
- ・ どのようなお店があるか等の情報が簡単にスマホで見られるようになると良い。
- ・ アミュプラザのオープンで駅と橋通りの導線が図れたのは良かった。個人的にはキャパが50~100人程度の小劇場があると良いと思う。
- ・ 高千穂通り・橋通り・県庁通りを交互に歩行者天国にし色々なイベントを毎週開催するのはどうか。
- ・ コロナのため駐車場の整備や開放的なホールの確保、十分な換気を行える場所の確保、待たなくても良い横断歩道など、感染防止の観点から見たまちづくりをしていただけると嬉しい。
- ・ 宮崎駅東口にも商業施設を誘致して人が回遊できるようにしたら良い。宮崎市役所を宮崎駅周辺に誘致することで昼間人口を増やし、バス・JRの利用者が増加すると思う。
- ・ 新しい市役所を駅前に建設するのであれば図書館を併設した複合型施設とすれば、アミュプラザ・中央公園・科学技術館との相乗効果があるのではないか。駅前に図書館を作るとは中心市街地の活性化に繋がると思う。
- ・ 宮崎駅のトイレをリフォームして広く開放的できれいな場所にできないか。駅の規模にしては狭すぎると思う。宮崎駅を綺麗な憩いたくなる場所、空間にしないと人は集まらなくなると危惧している。
- ・ 花と緑あふれる花壇を増やしイメージアップを図ると良い。フリー空間を設けて誰もが集える場を作る。オープンオフィスコーナーを設けリモートができる場を提供する等、様々なスペース・コーナーを設けてあそこに行けば誰かに会える・遊べる・くつろげる・休める空間をつくる。
- ・ アミュプラザ宮崎やドン・キホーテができて人の流れが変わったと思うが、一過性にならずどんどんアイデアを出して人が定着するようになると良い。
- ・ 食べ歩きマップを作成して欲しい。
- ・ 店外のテラスで気軽に飲食ができるような店づくりが必要ではないか。
- ・ 休憩できるベンチが多く設置されると良い。
- ・ 5年前と比べて整備され活性化してきていると思うが、コロナ禍により外出を控えている人がほとんど。コロナの見通しが明るくなれば人の出が増え、新たな課題も見えてくると思う。
- ・ 人数制限や事前予約等をしてコロナ禍でもイベント開催すると良い。
- ・ コロナ終息が活性化の一番の解決方法。コロナ禍のため少人数の行事をしてみてもどうか。
- ・ 中心市街地は歩きタバコが多いため行きたくない。歩きタバコを禁止する条例をつくってほしい。
- ・ 燃やせるごみの収集を夜回収にすると、朝方の中心市街地がきれいになりカラス等のごみ散らかし・フンの被害等を防げるのではないか。
- ・ 高齢者向けマンションの提供や安価で利用できる交通の利便化を図ると良い。巣鴨のようなシニア向けお店を増やすと良い。
- ・ 2人暮らし向けマンションが建設されると良い。
- ・ 宮崎県内の大学を全て駅周辺に集めたら若者が集まると思う。
- ・ 中心市街地に若年層が住みやすい団地を作るとおのずとそこに子どもが育つのではないか。教育しやすい街づくりをすると子どものために中心市街地で子育てしたいと思う。中高一貫教育のブランドに力を入れて欲しい。
- ・ 中心部に乳幼児から高齢者まで集まれる施設(公的施設)を作ると欲しい。学校(特に大学)が少ない。
- ・ ベビーカーの貸し出し等があると便利。
- ・ 高齢者向けの市営住宅・総合病院・介護施設・スーパーなどの複合ビルの建設をすると良い。
- ・ 橋通りのアーケードを撤去したら宮崎の中心市街地が生まれ変わると思う。

「食と農林水産業」に関するアンケート調査 集計結果

◆調査の目的

本市では、昭和33年度から概ね5年ごとに農林水産業振興基本計画を策定してきており、平成29年3月に策定した現行の「第12次宮崎市農林水産業振興基本計画」は、令和3年度が計画期間の最終年度となっている。
市民の食及び農林水産業並びに農山漁村に関する市の施策についての調査を実施し、この計画に反映させる。

◆調査の概要

- (1) 調査期間 令和3年1月25日～令和3年2月5日 ※終了後も一定期間回収
 (2) モニター数 184人 (郵送モニター119人、e-モニター65人)
 (3) 回答数 171人 (郵送モニター114人、e-モニター57人) ※回答率92.9%
 (4) 担当課 農政部 農政企画課

◆調査結果概要

- 【問1】 食品を買う際に気にしていることについては、「新鮮さ(25.2%)」、「価格(20.1%)」、「安全性(16.2%)」、「おいしさ(11.1%)」、「品質(8.4%)」の順に多かった。
- 【問2】 豚肉を例に、産地と価格の違う食品の選択については、「国産にはこだわりますが安いほうを選ぶ(地元産にはこだわらない)(54.7%)」、「値段が高くても地元産を選ぶ(35.5%)」、「最も安いものを選ぶ(国産にはこだわらない)(9.9%)」の順となった。
- 【問3】 「野菜、くだもの、きのこ類など」の購入場所については、「デパート・大型店・スーパーマーケット(76.0%)」が最も多く、次いで「直売所や道の駅など(17.0%)」、「野菜を専門に取扱う小売店(八百屋さん)(5.8%)」の順に多かった。
- 【問4】 「肉類」の購入場所については、「デパート・大型店・スーパーマーケット(81.2%)」が最も多く、次いで「肉類を専門に取扱う小売店(肉屋さん)(12.9%)」、「インターネット通販や宅配サービス(3.5%)」の順に多かった。
- 【問5】 「魚介類」の購入場所については、「デパート・大型店・スーパーマーケット(91.7%)」が最も多く、次いで「魚介類を専門に取扱う小売店(魚屋さん)(4.1%)」、「直売所や道の駅など(1.8%)」の順に多かった。
- 【問6】 外食の利用については、「月に1～2日(44.6%)」が最も多く、次いで「ほとんど利用しない(26.2%)」、「週に1～2日(24.4%)」、「週に3～5日(3.6%)」、「ほとんど毎日(1.2%)」の順となった。
中食(惣菜やコンビニ弁当など)の利用については、「ほとんど利用しない(35.5%)」が最も多く、次いで「週に1～2日(28.9%)」、「月に1～2日(28.3%)」、「週に3～5日(4.2%)」、「ほとんど毎日(3.0%)」の順となった。
- 【問7】 宮崎市を代表する農林水産物(65品目中)については、1位「日向夏(10.0%)」、2位「牛肉(宮崎牛など)(9.8%)」、3位「マンゴー(9.4%)」、4位「ピーマン(6.4%)」、5位「鶏肉(地頭鶏など)(6.1%)」と「豚肉(みやざきブランドポークなど)(6.1%)」の順に多かった。
- 【問8】 宮崎市の農林水産業や農林水産物を県内外にアピールするための取組については、「メディアを使ったPRの強化(18.4%)」が最も多く、次いで「県外デパートなどにおける定期的な「宮崎フェア」の開催(17.9%)」、「宮崎ゆかりのタレント等著名人による広報宣伝活動(13.0%)」の順に多かった。
- 【問9】 農林水産業に触れる機会については、「日ごろ、農林水産業に触れる機会はない(52.7%)」が最も多く、次いで「庭などで家庭菜園をしている(31.1%)」、「親や親戚が農林漁業者であり、手伝いをすることがある(9.0%)」の順に多かった。
- 【問10】 農林水産業に期待することについては、「品質や鮮度がよく、おいしい食料を供給すること(29.3%)」が最も多く、次いで「生産段階の安全性や衛生管理を確保し、できるだけ安全な食料を供給すること(16.0%)」、「食料供給力を確保し、できるだけ安定的に食料を供給すること(13.3%)」の順に多かった。
- 【問11】 農山漁村の役割で重要だと思うことについては、「食料を生産する場としての役割(29.0%)」が最も多く、次いで「地域の人々が働き、かつ生活する場としての役割(21.9%)」、「多くの生物が生息できる環境の保全や良好な景観を形成する役割(16.2%)」の順に多かった。
- 【問12】 宮崎市の農林水産業を発展させていくための今後必要な取組(自由意見)については、多種多様な意見を多くいただく中で、本市農業に対し、さらなる期待を農林水産物の県内外での「PR」や「ブランド化」、「販売」の取組などに対する意見が最も多かったが、そのほか、地元への供給を促進させる「地産地消」、将来の担い手を育成するための「食育」の取組に対する意見も多かった。

◆調査結果まとめ

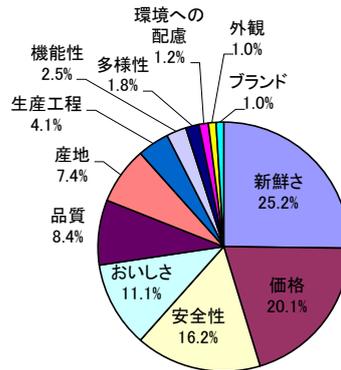
5年前の調査と比較し、いわゆる「八百屋さん」・「魚屋さん」での食材購入は横ばいであるものの、専門的な「肉屋さん」で食材購入する割合が倍増していた。
また、デリバリーを除き外出を伴う外食・中食とも、5年前と比較し、週1日以上利用する割合が減少しており、コロナ禍の影響が出ているものと推察される。
市を代表する農林水産物として、前回トップの牛肉を抜き「日向夏」が首位となった。2020年は、日向夏が本市で発見されて200年のメモリアルイヤーだったことから、PR活動の強化が結果につながったものと推察される。
また、豚肉の躍進(昨年8位→5位)も目立った。
「通販サイトでの購入頻度」や「SNSでのPR希望」の伸長を予想していたものの、いずれも前回を下回る結果になったことは意外であった。

◎調査結果

1. 食料品の選択に関するあなたの考え方について、お伺いします

問1 あなたが食料品を買う際に、気にしていることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	割合
新鮮さ	129	25.2%
価格	103	20.1%
安全性	83	16.2%
おいしさ	57	11.1%
品質	43	8.4%
産地	38	7.4%
生産工程	21	4.1%
機能性	13	2.5%
多様性	9	1.8%
環境への配慮	6	1.2%
外観	5	1.0%
ブランド	5	1.0%
その他	0	0.0%
計	512	100.0%
無回答	0	-



《参考》前回調査(5年前)

選択肢	回答数	割合
新鮮さ	125	22.8%
価格	119	21.7%
安全性	99	18.0%
産地	60	10.9%
品質	57	10.4%
おいしさ	48	8.7%
機能性(体や健康に良いか)	17	3.1%
環境への配慮	9	1.6%
多様性(使い勝手が良いか)	8	1.5%
外観(見た目が良いか)	7	1.3%
その他	0	0.0%
計	549	100.0%

問2 あなたが普段の食事のための食料品を買う際に、商品の見た目がほとんど同じで価格の違う次のような県内産と国産(県外産)、外国産が並んでいる場合、どれを選択しますか。豚肉の場合を例に、もっともあてはまるものを1つ選んでください。

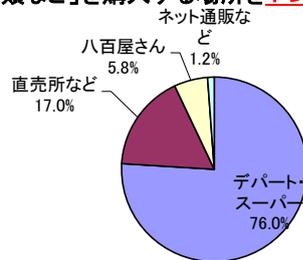
選択肢	回答数	割合
県内産豚肉 ↑値段が高くても地元産を選ぶ	61	35.5%
国産(県外産)豚肉 ↑国産にはこだわるが安いほうを選ぶ(地元産にはこだわらない)	94	54.7%
外国産豚肉 ↑最も安いものを選ぶ(国産にはこだわらない)	17	9.9%
計	172	100.0%
無回答	0	-

※複数回答した方がおられたため、回答数が回答者数を超過している。

2. あなたが、食料品を買いに行く場所について、お伺いします

問3 あなたがもっとも「野菜、くだもの、きのこ類など」を購入する場所を1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
デパート・大型店・スーパーマーケット	130	76.0%
直売所や道の駅など	29	17.0%
野菜を専門に取扱う小売店	10	5.8%
インターネット通販や宅配サービスで 購入	2	1.2%
コンビニエンスストア	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	171	100.0%
無回答	0	-

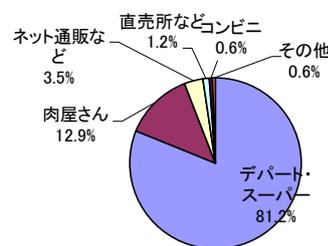


《参考》前回調査(5年前)

選択肢	回答数	割合
百貨店やスーパーマーケット	152	80.0%
直売所や道の駅など	25	13.2%
野菜を専門に取扱う小売店	8	4.2%
インターネット通販や宅配サービスで 購入	3	1.6%
コンビニエンスストア	1	0.5%
その他	1	0.5%
計	190	100.0%
無回答	1	-

問4 あなたがもっとも「肉類」を購入する場所を1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
デパート・大型店・スーパーマーケット	138	81.2%
肉類を専門に取扱う小売店	22	12.9%
インターネット通販や宅配サービスで 購入	6	3.5%
直売所や道の駅など	2	1.2%
コンビニエンスストア	1	0.6%
その他	1	0.6%
計	170	100.0%
無回答	1	-

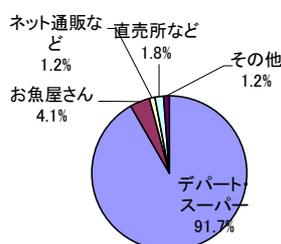


《参考》前回調査(5年前)

選択肢	回答数	割合
百貨店やスーパーマーケット	166	89.2%
肉類を専門に取扱う小売店	12	6.5%
インターネット通販や宅配サービスで 購入	3	1.6%
コンビニエンスストア	2	1.1%
直売所や道の駅など	1	0.5%
その他	2	1.1%
計	186	100.0%
無回答	1	-

問5 あなたがもっとも「魚介類」を購入する場所を1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
デパート・大型店・スーパーマーケット	155	91.7%
魚介類を専門に取扱う小売店	7	4.1%
インターネット通販や宅配サービスで 購入	2	1.2%
直売所や道の駅など	3	1.8%
その他	2	1.2%
コンビニエンスストア	0	0.0%
計	169	100.0%
無回答	2	-



《参考》前回調査(5年前)

選択肢	回答数	割合
百貨店やスーパーマーケット	164	87.2%
魚介類を専門に取扱う小売店	10	5.3%
インターネット通販や宅配サービスで 購入	4	2.1%
直売所や道の駅など	3	1.6%
コンビニエンスストア	2	1.1%
その他	5	2.7%
計	188	100.0%
無回答	0	-

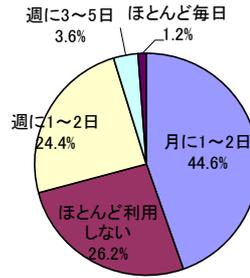
※複数回答した方がおられたため、回答数が回答者数を超過している。

3. あなたの食生活について、お伺いします

問6 あなたは、間食を除き、**外食**(飲食店などを利用して家庭外で食事すること)や**中食**(総菜やコンビニ弁当などの調理済み食品を自宅などで食べるテイクアウトやデリバリーのこと)をどの程度利用しますか。もっともあてはまるものを**1つずつ**選んでください。

(1) 外食の利用

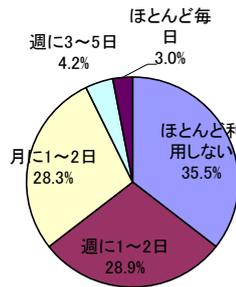
選択肢	回答数	割合
月に1~2日	75	44.6%
ほとんど利用しない	44	26.2%
週に1~2日	41	24.4%
週に3~5日	6	3.6%
ほとんど毎日	2	1.2%
計	168	100.0%
無回答	3	-



選択肢	回答数	割合
ほとんど利用しない	105	56.8%
週に1~2日	71	38.4%
週に3~5日	7	3.8%
ほとんど毎日(週に6~7日)	2	1.1%
計	185	100.0%
無回答	2	-

(2) 中食の利用(付け合わせのサラダのみを利用する場合などは除き、主食としてお答えください)

選択肢	回答数	割合
ほとんど利用しない	59	35.5%
週に1~2日	48	28.9%
月に1~2日	47	28.3%
週に3~5日	7	4.2%
ほとんど毎日	5	3.0%
計	166	100.0%
無回答	5	-



選択肢	回答数	割合
週に1~2日	83	45.1%
ほとんど利用しない	83	45.1%
週に3~5日	17	9.2%
ほとんど毎日(週に6~7日)	1	0.5%
計	184	100.0%
無回答	3	-

4. 宮崎市産の農林水産物について、お伺いします

問7 宮崎市では多種多様な農林水産物が生産・水揚げされています。あなたが、特に県内外にアピールできると思う「宮崎市を代表する農林水産物」は何だと思いますか。あてはまるものを**5つまで**選んでください。

順位	選択肢	回答数	割合
1	日向夏	84	10.0%
2	牛肉(宮崎牛など)	82	9.8%
3	マンゴー	79	9.4%
4	ピーマン	54	6.4%
5	豚肉(みやぎきブランドポークなど)	51	6.1%
5	鶏肉(地頭鶏など)	51	6.1%
7	きゅうり	43	5.1%
8	大根・干し大根・せんざり大根	39	4.6%
9	きんかん	38	4.5%
10	なす(佐土原ナスなど)	35	4.2%
11	かんしょ(さつまいも)	27	3.2%
12	しいたけ(生椎茸・干し椎茸)	26	3.1%
13	うなぎ	22	2.6%
14	早期水稲	20	2.4%
14	トマト・ミニトマト	20	2.4%
16	いせえび	16	1.9%
17	スイートコーン	15	1.8%
18	かぼちゃ(黒皮かぼちゃなど)	14	1.7%
18	かつお	14	1.7%
20	いちご	12	1.4%
21	温州みかん	10	1.2%
21	アボカド	10	1.2%
21	しらす(ちりめんじゃこ)	10	1.2%
24	高岡文旦	9	1.1%
25	メロン	7	0.8%
25	茶	7	0.8%
27	洋ラン(コチョウランなど)	6	0.7%
28	しょうが	5	0.6%
28	たまご(鶏卵)	5	0.6%
30	パパイア	4	0.5%
31	にがうり(ゴーヤー)	2	0.2%
31	大葉(しそ)	2	0.2%
31	キャベツ	2	0.2%
31	不知火(デコボン)	2	0.2%
31	いわし類・あじ類	2	0.2%
31	さわら	2	0.2%

順位	選択肢	回答数	割合
37	すいか	1	0.1%
37	ブロッコリー	1	0.1%
37	さといも	1	0.1%
37	フィンガーライム	1	0.1%
37	ダリア	1	0.1%
37	デルフィニウム	1	0.1%
37	トルコギキョウ	1	0.1%
37	バラ	1	0.1%
37	牛乳	1	0.1%
37	えのきだけ	1	0.1%
37	たちうお	1	0.1%
37	かます	1	0.1%
49	ばれいしょ(じゃがいも)	0	0.0%
49	らっきょう	0	0.0%
49	にんじん	0	0.0%
49	ねぎ	0	0.0%
49	レモン	0	0.0%
49	キク	0	0.0%
49	ユリ	0	0.0%
49	葉たばこ	0	0.0%
49	たけのこ	0	0.0%
49	まぐろ類	0	0.0%
49	たい類(まだい・ちだいなど)	0	0.0%
49	さば類	0	0.0%
49	ふぐ類(とらふぐなど)	0	0.0%
49	しいら	0	0.0%
49	はも	0	0.0%
49	その他えび類(甘えびなど)	0	0.0%
49	貝類(あわび・とこぶし・かきなど)	0	0.0%
	計	839	100.0%
	無回答	2	-

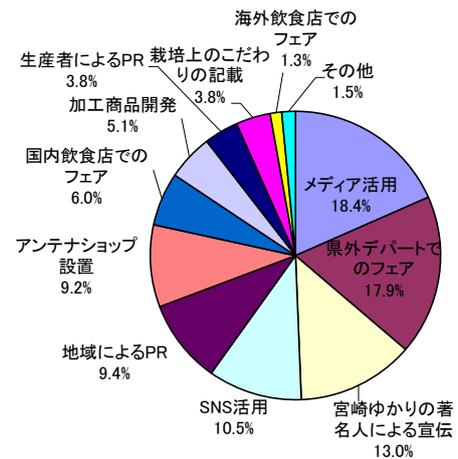
《参考》前回調査(5年前)

順位	選択肢	回答数	割合
1	牛肉(宮崎牛など)	100	10.9%
2	日向夏	96	10.5%
3	マンゴー	91	10.0%
4	ピーマン	73	8.0%
5	鶏肉(みやぎ地頭鶏など)	57	6.2%
6	きゅうり	44	4.8%
6	大根・干し大根・せんざり大根	44	4.8%
8	豚肉(みやぎきブランドポークなど)	36	3.9%
9	早期水稲	35	3.8%
10	なす(佐土原ナスなど)	34	3.7%
10	きんかん	34	3.7%
11	かんしょ(さつまいも)	32	3.5%
13	スイートコーン	27	3.0%
14	トマト・ミニトマト	24	2.6%
14	しいたけ(生椎茸・干し椎茸)	24	2.6%
16	かぼちゃ(黒皮かぼちゃなど)	21	2.3%
17	うなぎ	16	1.8%
18	かつお	14	1.5%
19	しらす(ちりめんじゃこ)	11	1.2%
19	いせえび	11	1.2%
21	高岡文旦	9	1.0%
22	茶	8	0.9%
-	その他	73	8.0%
	計	914	100.0%
	無回答	2	-

5. 宮崎市の農林水産業や農林水産物を県内外にアピールするために必要な取組について、お伺いします

問8 あなたは、宮崎市の農林水産業や農林水産物を県内外にアピールするために必要な取組はどんなことだと思いますか。あてはまるものを**3つまで**選んでください。

選択肢	回答数	割合
メディアを使ったPRの強化	86	18.4%
県外デパートなどにおける定期的な「宮崎フェア」の開催	84	17.9%
宮崎ゆかりのタレント等著名人による広報宣伝活動	61	13.0%
フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した広報活動	49	10.5%
地元(市内)消費者へのPRを強化し、地域全体で外部へPRできる体制づくり	44	9.4%
大消費地におけるアンテナショップの設置	43	9.2%
「国内」の飲食店などにおける定期的な「宮崎フェア」の開催	28	6.0%
農商工連携や6次産業化による魅力ある加工商品の開発	24	5.1%
農協・漁協や農林漁業者によるPR活動の強化	18	3.8%
商品ラベルへの生産履歴の表示や減農薬・有機栽培など栽培上のこだわりの記載	18	3.8%
「海外」の飲食店などにおける定期的な「宮崎フェア」の開催	6	1.3%
その他	7	1.5%
計	468	100.0%
無回答	4	-



[その他の回答]

- ・地域一体型のブランディング。
- ・生産者は自信を持って顔をみせるべき、生産者に自信がないと消費者はついてこない。
- ・作品応募による「いい肉グランプリ」等は最高に満足感がある。
- ・知事によるアピールが必要不可欠と思われます。
- ・企業とのコラボ。
- ・県外に宮崎産の食材を使ったレストランを作る。
- ・それほど、金を使ってまで県外に出す(高額化したものづくり)ことが必要だとは思わない。

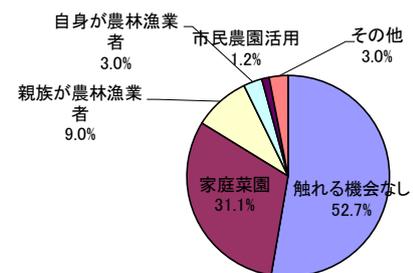
《参考》前回調査(5年前)

選択肢	回答数	割合
メディアを使ったPRの強化	110	20.8%
県外デパートなどにおける定期的な「宮崎フェア」の開催	102	19.3%
フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した広報活動	67	12.7%
宮崎ゆかりのタレント等著名人による広報宣伝活動	56	10.6%
地元(市内)消費者へのPRを強化し、地域全体で外部へPRできる体制づくり	53	10.0%
大消費地におけるアンテナショップの設置	51	9.6%
商品ラベルへの生産履歴の表示や減農薬など栽培上の	39	7.4%
農協・漁協や農林漁業者によるPR活動の強化	38	7.2%
その他	13	2.5%
計	529	1

6. あなたが農林水産業に触れる機会について、お伺いします

問9 あなたが農林水産業に触れる機会は、どんな時ですか。もっともあてはまるものを**1つ**選んでください。

選択肢	回答数	割合
日ごろ、農林水産業に触れる機会はない	88	52.7%
庭などで家庭菜園をしている	52	31.1%
親や親戚が農林漁業者であり、手伝いをすることがある	15	9.0%
自身が農林漁業従事者である(兼業やパート・アルバイトを含む)	5	3.0%
市民農園を借りて、野菜などを栽培している	2	1.2%
その他	5	3.0%
グリーンツーリズムをはじめとするワーケーション、ワーキングホリデーを利用している	0	0.0%
計	167	7.2%
無回答	4	-



[その他の回答]

- ・若草HUTTEが行っている原木しいたけオーナー制度。
- ・農家さんに接する仕事をしている。
- ・実家に戻り畑をすることがある。
- ・農業高校の生産販売や県庁朝市で触れる機会があります。
- ・父の家庭菜園で育った食物をいただき家で食べる時。

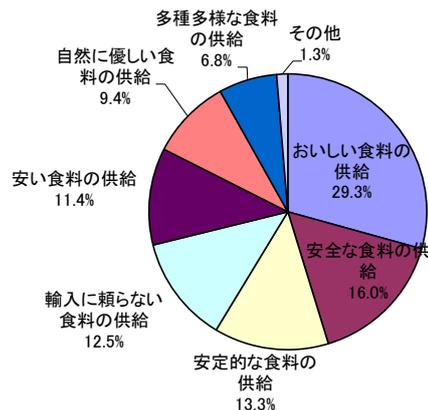
《参考》前回調査(5年前)

選択肢	回答数	割合
自身が農林漁業従事者である(兼業やパート・アルバイトを含む)	10	5.3%
親や親戚が農林漁業者であり、手伝いをすることがある	19	10.2%
庭などで家庭菜園をしている	61	32.6%
市民農園を借りて、野菜などを栽培している	5	2.7%
日ごろ、農林水産業に触れる機会はない	84	44.9%
その他	8	4.3%
計	187	1

7. 農林水産業や農山漁村が果たす役割について、お伺いします

問10 あなたは、農林水産業に対して、どのようなことを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	割合
品質や鮮度がよく、おいしい食料を供給すること	134	29.3%
生産段階の安全性や衛生管理を確保し、できるだけ安全な食料を供給すること	73	16.0%
食料供給力を確保し、できるだけ安定的に食料を供給すること	61	13.3%
輸入に頼らず、より多くの食料を供給すること	57	12.5%
生産コストを引き下げ、より安い食料を供給すること	52	11.4%
環境に配慮した生産手段により、できるだけ自然に悪影響を与えない食料を供給すること	43	9.4%
消費者のニーズに対応できる多種多様な食料を供給すること	31	6.8%
その他	6	1.3%
計	457	100.0%
無回答	4	-

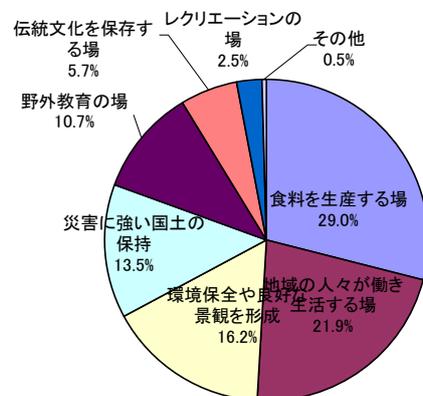


〔その他の回答〕

- ・効率化やIT化で、生産者の負担少なく持続可能な農業。
- ・地域を代表する食品として誇れるブランディングと地域一体型。
- ・生産者を増やす。
- ・生産者の所得向上に繋がる安定的な経営により、変動の少ない生産物の供給。
- ・農業・漁業従事者が安心して仕事ができるような環境作り。
- ・有機栽培、無農薬での安心な食料。

問11 あなたは、農林水産業地域が持つ役割の中で、どのような役割が特に重要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答数	割合
食料を生産する場としての役割	127	29.0%
地域の人々が働き、かつ生活する場としての役割	96	21.9%
多くの生物が息できる環境の保全や良好な景観を形成する農地(ため池や側溝等を含む)や森林等の適正管理による、災害に強い国土を保持する役割	71	16.2%
農山漁村での生活や農林漁業体験を通しての野外における教育の場としての役割	47	10.7%
伝統文化を保存する場としての役割	25	5.7%
保健休養など、レクリエーションの場としての役割	11	2.5%
その他	2	0.5%
計	438	100.0%
無回答	3	-



〔その他の回答〕

- ・地域と農林水産の一体的な取組。
- ・自分自身で生計を立てていく。補助に頼らない取組。

8. 最後に、お伺いします

問12 宮崎市の農林水産業を発展させていくためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。あなたのご意見をお聞かせください。

〔主な意見〕（回答者数：101人）

- 自分の思う感じでは十分と思います。
- 若者をひきつけるような女性を呼び込む。
- 農業法人を進め、農家が安定して収入を獲得できるような仕組みづくりが大事ではないかと思う。
- 本当においしいものがたくさんある宮崎。もっと県外にPRしたら良いと思う。
- 宮崎市の農林水産業を発展していくためには、今後PR活動の強化が必要だと思います。宮崎の魅力を知らない若い人たちにSNS等を使ってどんどんPRしてほしいです。
- 農林水産業を発展させていくために、少子高齢化の時代、各種イベント、展示会（県外にて開催の場合）、宮崎県の住みやすく、きれいな宮崎県の情報発信をお願いします。
- 高齢化や後継者不足に対する対応。ある程度の組織化や事業化が大切かなと思います。
- 宮崎には生産量や水揚量など全国1位のものが多くあるのに、他県に行くとそのことを知っている人は少ない。宮崎の農林水産業は魅力がいっぱいなのにアピールが下手なのではないかと思う。全国へのPRの強化をするべきだ。
- コロナ禍において飲食店の提供が著しく減少し、農産物の販売先を失った農家が多くありました。出荷コスト>売価の状況では、出荷もできず農産物を処分する状況で補助もなければ農家は生きていけません。新たな販売チャンネルを市が確保または補助しなければ、宮崎市の農林水産業は天災により生産は減少の一途を辿ります。また、生産量を維持・向上していくためには、農業の法人化が必須だと考えております。リスクを負ってまで自営する人は減少し、「人口減少に依る消費の減少」と「働き手の減少」という二重苦の状況にすでに陥っています。農業の法人化による高効率・大量生産が行える状況であれば、設備投資にもお金をかけられ品質や開発能力も向上します。
- 宮崎に来てから、食に関して地産地消とおいしい宮崎という言葉を毎日メディアより刷り込まれています。これはこれで悪くないと思われませんが、宮崎は南に位置し商品が豊富でないことがこのような言葉を発していると思われるのです。商品売り込みたいなら安全安心が一番先来ののではないのでしょうか、ほかの地域で生活したときは地産地消は前面に出ることは少なく、安全商品の選択・おいしい物の見分け方・見える生産者と聞いてきました。宮崎はこれが少ない、特に見える生産者の売り込みが少ない。まずは産地はこだわることではなく、顔の見える商品にしてください。安全安心が一番です。これが産地の誇りとなり自信となると思われまふ。
- ①ブランド化を進める、②フードテックへの取組
- 農林水産業について、まったくと言っていいほどなじみがありません。せつかく「食と農」を謳っているのだからもう少し身近に感じられるような取り組みがあるといいなと思います。
- ブランド力の強化。例えばナスや文旦。佐土原なす、高岡文旦など、宮崎の地名が入ったブランド作物はいくつもあるが、何れも一般的な米なすや土佐文旦には勝っているとは思えない。味や品質で劣っているわけでもないのに、発信力の弱さもあるが、既存ブランドやメジャー作物との差別化をもっとしっかりアピールし、多くの人を選んで（好んで）手に取るような販売戦略（ブランド強化策）が必要。以前の東国原元知事時代に太陽のタマゴ、宮崎どっこを一躍全国区に押し上げたトップセールスは正にその成功例。正直宮崎の農林水産業がいまいちパツとしないのは、作り手よりも売り手に問題があると思う。
- 全国的にも珍しく生産も少ない農林水産物は、料理や調理方法も浸透していないと思うので、SNS動画などで発信していくとよいと思います。消費者としては、価格が高いと購入をためらってしまいますので、例えば、他の食材と組み合わせると何人分の主菜あるいは副菜ができるのか手軽である等、スーパーマーケットの売り場に宣伝してあると購入しようと思います。
- 山、森、木、川、海の保全を保つことが、私たちの食生活にも大きく関係があると思うので、まず、森を維持管理し、自然を残すことからお願いします。宮崎の農産物は安全でストレスのない食物を提供できると考えています。ストレスフリーの宮崎を目指すことが、良い発展につながっていくと思います。
- 規制などがあまりなく自由に生産できる仕組み。魅力的な働き方の仕組みづくり。消費者にスムーズに情報と商品が届く仕組み。地域をアミューズメントパークのようなイメージづくり（キザニアのような）
- ①設問にもありましたが、宮崎市民に対するPR、アピールを行うこと。今は、SNS、twitterなどを利用でき、また活用する人が多くなっているように思います。LINEでもホームページを紹介したり、ともかく利用すること。
- ②農林水産業に従事する人々自信が未来の食を担っているとの自覚をもち、宣伝していく。
- 従来の品種に頼らず全く新しい品種の開発、栽培方法の深化、工場技術による多種・量産化への取り組み。
- 生活できる収入が得られるようであれば農林水産業の発展はない。国や県と連携し、指導力を発揮して欲しい。コロナ禍で大都市圏から田舎へ移住して農業を始めたい人のために、農地や空き家を3年間くらいは無料で提供してはどうか。
- 子どもたちに農林水産業の意義や魅力を啓発、配信して従事者を増やすこと。以前農業に従事し活躍している女性の講話を聞いたことがありますが、とてもやりがい、生きがいを持って取り組んでいらっしやう、感動した事があります。そして、その方が来宮された時、農業高校の女子生徒（校長室で4名だけでしたが）に話をさせていただいた事があります。
- イベントなどで若い人たちに農林水産業をアピールする。また定年後の人たちでも出来ることを明確にして広報活動を行う。
- 隔離生活でできる収入が得られる従事者を養成し、増加させる事です。
- 緊急事態宣言から、インターネットでの買い物や宅配便の利用が増加しています。私も北海道応援セールや他県のWEB物産館で買い物をしました。宮崎県のWEB物産館もみましたが、正直送料を払ってまで購入したいと思えるものがあるませんでした。せつかく魅力的で新鮮なものが多い宮崎ですから、魅せる工夫と販売経路の開発、どの世代にターゲットを絞るのかマーケティングが大事だと思います。
- 子供と親と一緒に楽しめる体験型プログラムのイベントがあれば参加したいです。
- 少子高齢化社会なので後継者を育成することが大事だと思います。小学生のころからの農林水産業に関する学習や体験、啓発活動が必要だと思います。
- 農業が問題視されている今、安心安全食を提供して頂ける取り組み。
- 宮崎県産の農林水産物のおいしさをメディア等を通じてアピールすること。
- ①異業種とのコラボによる多様な戦略。
- ②新たに品種改良することによって他県との差別化、ブランド化の強化。
- ③宮崎の商品だから購入したいと思わせる質の良さ、イメージの定着化等の取組が必要かと思っています。
- 早期にこだわらないものがあるというのでは。例トマト。夏によく熟れたものが食べたい。
- コロナで現在は難しいかもしれないが、「米」を海外へPRすべきである。「日本産は品質が良いが高い」という考えがあるが、普通の「米」でよい。米価も国内だけで下がっているが、海外はまだまだ可能性があると思う。田も荒れず、米に可能性があると思えば、農業も少しは活性化すると思う。
- 県外のデパートで宮崎物産会みたいな企画をする。
- 基幹産業への理解を深め、発展に大いに期待し、経済的援助を市の行政は行ってほしい。
- 宮崎県内の名産が、県内では安く手に入るようにしてほしい。（宮崎牛やマンゴーなど）
- 新鮮でおいしい産物がたくさんあるのに、店頭には外国産・県外産が並んでいます。生産者、販売者が工夫・協力して市民へもっとPRしてほしい。近くにあれば買いたいです。
- 「宮崎の食材はともおいしい！」と県外から見えた方に聞いたことがあります。私は県外で暮らしたことがないので、それを聞いて初めて知りました。”甘みやうまみ”が違うそうです。「食」はとても大事でし、食材によって料理の味も違ってきます。コロナの時代。家で料理が増えてきていると思うので、県外の方にも取り寄せてもらってでも口にさせていただきたい。SNSやメディアなどでより多く発信していただきたいです！
- 小学生に色々な体験の場があるといいなと思います。
- 子供が学校で野菜を作ったりして、その野菜で家庭科の時間に調理をする等、子供のうちから身近で作れる野菜等を知れる様にする。

- ・学校給食の予算を増やし、子供の食育を豊かにすることに今以上に努力していけばよいのではないかと思います。
- ・生産者を大切に県産品を利用する。学校での教育でも大変だが、一番大事な仕事で喜ぶ人が多くいるのも教育だと思います。家庭でも話題にしてほしいです。乱筆すいません。
- ・それぞれが地元の人々に購入できるような販売所を設け、もっと地元の人に消費してもらうことで人気も出てくると思う。
- ・以前、宮崎市の市街地に「海幸山幸」というお店があり、諸塚や北浦の生産物が売っていて良く利用していた。また綾の「ほんものセンター」にも有機農産物を求めて出掛ける。宮崎市に市内の有機農産品や地どれのお魚を販売するショップは作れないのか？また娘が京都に住んでいるが、京都にアンテナショップは作れないのか？娘の家の自然食品店に宮崎の有機農産物が置いてあるが、個人で仕入れているので価格が高い。
- ・県民の一人一人が食の大切さを再認識し、地産地消に努め、農林水産業への職に就く人を少しでも増やせるようにしていくことが大切である。
- ・高齢化が進み、空農地が増加傾向が止まりません。地権者の継承もなかなか難しいのではないかと思います。コロナ感染で都会から宮崎に移住して農業を希望される方が多数増えていると思います。都会に相談室を設けて受け入れる方策を考えたいかがですか。
- ・全国的にみて、宮崎市また宮崎県は農林水産業の盛んな地域と思われます。新鮮な農産水産品を大都市へ移出し、農林水産業従事者の収入レベルをアップし、宮崎県民一人当たりの所得を上げ、豊かな暮らしができる営みを強く推進することを希望します。それには宮崎県の唯一の欠点、陸・海・空の交通の不便さを失く努力がより以上必要と思われる。
- ・コロナ禍で本当に大変でご苦労されているとは思いますが、現状がなかなか伝わりにくい点もあると思います。私自身、ネットショッピングを日々していますが、他県での販売、または都城市の販売戦略は大変すばらしいと思います。(実際多数の商品を購入しました)なんとかこの時期を乗り切っていきたいと思っています。
- ・農業法人というものもあるということを最近知ったのですが、将来お仕事を選ぶときに、今まで農業をやっていないとなかなかできないと思うので、もっと雇用の場を増やしてほしい。若い人が農業をやってみたいと思えるようなアピールをしてほしい。
- ①一般消費者向けの生産コストを下げる取組～作業の協同化、とことん手間を省く。見た目の品質からの脱却(曲がった胡瓜、シミのある果物)、箱詰めから簡易な袋へ。
②高品質・高級感の商品の開発(販売チャネルを探る)いずれにせよメリハリをつける取り組みを行う。
- ・宮崎の農林水産物はおいしいともっとアピールして欲しいです。学校の給食の材料で利用していく、またそのことを保護者にアピールまたは試食してもらったりして家庭でも宮崎の農林水産物を利用して欲しいと思います。
- ・SNSやイベントなどで宮崎の農林水産物のPRすべきです。
- ・食材と触れ合うこと
- ・できるだけ県産の食材を選んで、地元貢献できればと思っています。そのために生産者はより安心安全な取組をお願いしたいです。
- ・生産性の高い農産物と農地整備、不要な中間機関の排除(農協等は不安)・技術の向上や安定供給の土壌づくり、個人経営の不振な農家は集合化させ法人として経営の安定化を図る。人口減少なのに農地開発が進んでいるので、農地開発をストップさせ、農地を拡大し、食糧基地として安定基盤づくりを図る。儲ける農業を推進し、後継者育成を充実させる。天候に左右されない施設農業等も推進させ、労力を人から機械へ移行させる。
- ・家庭菜園ができる庭付き平屋の貸家を作ってはどうでしょうか。
- ・宮崎の食材のおいしいなどをいろいろイベントで(試食等を含め)PRしていくことが大切だと思う。
- ・宮崎県の食べ物おいしいと思いますが、宮崎市と言われると実はぱつと浮かばず、おいしいものも思いつきませんでした。県北は農産物(空飛ぶ玉ねぎや魚介類)もおいしいですし、県南は伊勢エビや牛肉があります。県央のPR活動をがんばっていただきたいです。
- ・地元のおいしくて品質の良い多種多様な食材を市民に活用していただくため、市民にPRすることは大事であるが、県外客にも売り込むため、訪れる機会が多い時期にイベントを活用またはイベントを開催し抽選会等の景品にしてPRしたらどうでしょうか。小生は数年前まで鹿児島熊本大分など県外のマラソンジョギング大会に参加し特産品をもらってその地方食材に今でもこだわって注文しています。
- ・やまいきカボチャは、今、4戸の農家しか栽培していないとか。消滅寸前ではないか。栽培しても経営、生計が維持できなければだめだ。十分な支援が必要では。単なるPRだけでなく、カボチャを使った料理の開発も必要では。他にも宮崎の伝統農産物の維持にも努めて欲しい。今の農政は、大規模農家、新規就農者に重点が置かれている感じがする。小規模、従来からの農業者には支援が少なく思える。不満です。高齢者農家でダメだ、ではなく、全国的な傾向であるから、高齢農家にも支援をして、一農業者として位置づけ、所得向上、生きがいを持たせる農政を願う。今の農機具は、農産物が安いのに高価である。1千万単位でコスト高になっている。農業試験場で安い農機具開発を願う。買えない。過度な経費節減は改めて欲しい。早期水稻の揚水で1週間に3日、しかも半日の揚水地区がある。経費節減とかこれでは耕作放棄を招く。
- ・日本では農林水産業者の社会的立場がとても低く感じます。安全な食物が手に入ることが当たり前の中ということ、みんな生まれた時からだからです。年寄り食を大事にするのは食料困難を経験しているからです。労働に見合わない収入で農林水産業者がいなくなって食料不足になった時に、国産の食べ物のありがたさが分かります。農林水産業の発展は、後継者不足の解決、収入の向上の取組が必要だと思います。
- ・災害、天候が不良などの時に生産者等が乗り越えられる補償の強化や対策と産物を消費できるようにできる場所の確立。
- ・生産者と消費者が交流し、互いに気付き学んで興味を持つ機会が増えることが大切だと思う。
- ・生産者は自分で生きる道を考えるべきである。
- ・宮崎市での農林水産物で、特に県内外へのメディアを通じてPRIに努める。例えば、しいたけ、宮崎牛、きんかんたまたま、日向夏、マンゴー、黒皮かぼちゃ、また著名デパートでの展示即売会などをさらに実施する策。
- ・離農者の空地対策として一定期間(5年以内)放置されている農地は行政が強制的に借り上げ、県かそれに準ずる組織が生産活動できるように条例を作って欲しい。放棄地からは何も生まれないし、害虫発生、火災発生のもとになりごみ捨て地となって近所迷惑この上なし。
- ・ブランド化を進める。大消費にPRする。
- ・安い野菜はたくさん市場にまわらようになっていきます。伝統野菜などは手間こすとはかかり、少し高い野菜になるかもしれませんが、そういう野菜の方が今後ニーズがあるように個人的には思います。
- ・後継者やボランティアの確保を行い、人を絶やさない取組み。
- ・言い尽くされた言葉「地産地消」に限ると思います。特に、限定商品「パプリカ」については、何故か「韓国商品」に限定される場合が多いと思料され、宮崎県でも十分に生産されるものと思います。手に取る物は、「韓国産」ばかりで品質・安全性で疑問に思うのは、私一人だけでは無いと思います。
- ・一般の方たちが知らない食材、食べ方が結構いらして、宮崎市外よりの転入(5年)の私がお知らせして驚かれること時々あります。地産地消を進めるためにも「宮崎フェア」開催が欲しいです。
- ・若い人材(後継者)の育成・魅力をPRする
- ・継ぎ手を育てていくこと。より多くの人に知ってもらうこと。
- ・精算従業者の年齢の高齢化で存続の危機、移住者の勧誘など迅速な対策。
- ・地産地消の取り組みに一層力を入れると良いように思います。本当に新鮮でおいしい食べ方をもっとアピールすると、地元の方が新鮮なものが手に入るはずなので消費も伸びるのではないのでしょうか。最近調理もしない人が多いので、調理方法がわからなくて、おいしく食べる方法を知らない人も多いような気がします。
- ・宮崎県や広域の自治体と連携し、国内・国外を問わず、魅力ある食糧生産基地であることをアピールし、付加価値を向上させる、知名度を上げる等し、勝てる生産物を供給する事をとにかく目指す。すでにそれだけの潜在的価値・能力は持っている。

- ・ 1. 農林水産業者自身の取り組み
 - (1)まずは、安全で安心できるものに拘りながら、鮮度・品質の良いものを生産し続けること。
 - (2)次いで、コスト削減に努め、地元の消費者に納得してもらえる価格で提供できる生産形態・体制とする工夫を同業者が一体と検討し推進すること。
- 2. 行政サイドの取り組み
 - (1)地元の消費者に対して「地産地消」の意味を 幼児から大人まで「繰り返し、徹底して」教育し、刷り込むこと。
 - (2)末端の農林水産業者に最も多くの対価が渡るよう、流通体系を見直し、適正に運用されているか、常に監督し、改善を怠らないこと。
 - (3)「地産地消」のキャンペーンを積極的に推進し、上記施策の補強を行う。
 - ※Go To Eatも悪くはないが、「地産地消」キャンペーンを常時やる熱意と工夫とが必要と思います。宮崎で最重要の業種は何といっても「農林水産業」なのですから。
- ・ 農業では、特別な手を掛け、その分高価な商品が県外に出、県民は手の届かない商品がまま有る。勝手の砂地に立った45のように県民にはとても利用できないものは、ブームが終われば廃れてしまう。太陽の卵、たまたま、目井津の鱈、さくらぶり、いかに目新しいものができようと、県民が主体となり愛されるもので無ければ、関係者の懐も富まない。今度は数千円もするアボガドだと。金ある銀行が勝手にやるのは結構だが、決して税金を掛けてまで紹介するものではない。市民、県民には優しいものが、やがて全国に広がる、そして生産者の懐も潤う。JA等に借金をさせてまで、生産者をムチするやり方には反対。今、若い生産者の工夫が始まっている、その点に公共の者はアンテナを張って欲しい。
- ・ 私達の周囲を考えると①工作放棄地の増加②放棄された農機具の惨状③農業従事者の超高齢化④農業人口の減少等が極端になってきているのが分かります。規模の小さな農家程深刻になっているし、後継者不在が農業の衰退に拍車をかけているように思います。働き盛りの担い手がいるところはまだまだいいのですが、70歳以上の高齢者農家は離農もままならず、今までの米作りからの転換はおそらく出来ないと考え、地域で営まれているこれまでの農業は既にできなくなりつつあるように思います。農機具等に巨額の資金を投入してまで農業を行う農業従事者はいなくなるのではと危惧します。農業従事者の団体の農協が既に農業生産者の団体から本業を金融・各種保険分野に大きく舵を切っていますから農業協同組合としては既に変質している個別農家に寄り添った事業を展開するには既に時期を失していると思います。農業部門のIT化も一部は進んでいるところもあり今後に期待が持てることも見受けられますが、そうした能力、財政力の乏しい超高齢者農業従事者にとっては今更手遅れだと思います。農業法人を設立して規模拡大が出来る地域等は自力でも逞しく現状打破を掲げて頑張っていますが、全体から見るとごく一部でありません。これからの農業はIT化等を進めて増々儲かる農業従事者と衰退没落していく農業従事者とに大きく二極分解をしていくのではないかと思います。宮崎銀行等が独自の農業ファームを設立して儲かる農業に進出し始めていることも気がかりです。美味しい所だけをさらう企業に農協すら太刀打ちできないのではないかと危惧されます。
- ・ 勉強不足で良く解りません。
- ・ 農林水産業の後継者を確保することが一番の問題だと思う。
- ・ 農林水産業について、あまり知識がありませんが、メディア等でPRしたり、消費者へアピールすると、発展していくのではないかと、私は思います。
- ・ 品質、安全、美味しさなど突き詰めると、コストがかかりそうですが、少しでもコストを抑え、生産者に利益、消費者は安価で買えるようにしてほしいです。今は新型コロナの影響で生産者も消費者もダメージを食らっています。
- ・ 地産地消を推進し地元農業を守ること、
- ・ 今はインターネットやメディアが普及しているので、利用してYouTubeや動画配信など積極的に取り組んでPRしていく必要があると思います。
- ・ 清武のお店に行く、パイパイを売っている商品についての説明も書いてあり、清武でパイパイ生産を昔から熱心に行っていることが分かる。しかし実際に宮崎全体でみるとメジャーではないと思う。
- ・ 地域住民は地元の産物を選んで買うことが大事。食育の徹底。
- ・ 宮崎市の税金を、農・漁業従事者へ還元すること。働いてくれる人が少なくなれば、食糧供給が少なくなるため。働きやすい環境作りが大切だと思います。東国原知事のときより知名度は明らかに低下していると感じます。餃子で日本一は宇都宮にはかなわないので、宮崎ならではをもっとPRすべき
- ・ 県外へのアピールが下手だと思う。東国原知事のときのように、もっとアピールするべき。
- ・ 地域の人々が買い物をする事で、地域の食材に身近に触れておいしさ、良さを知ること。
- ・ 加工も体験できる施設を作り、テーマパークにするといいと思う。
- ・ 台風等のリスクをどれだけ回避してコンスタントな収穫収入につなげるかが大切だと思う。
- 1. 農業の場合も水産業の場合も個人経営者多すぎる。例えば、農業に関しては集団営農組織にして、大規模な北海道並みの規模にし、効率的な運営方式にして生産コストを下げる。地主は株主として分配を受ける。農機具も個人購入不要 *現在は各個人で農機具を購入して使用、非常に非効率的。農協の存在も弊害ではないか。
- 2. 漁業の場合は「仲買人」が価格高騰(中間マージン)原因ではないのか。また農業の場合も見た目を重視して市場で売買されるのでロスが多くなる。形・サイズ・見た目を余りにも重視し過ぎではないのか。
- 3. 太陽のタマゴ? マンゴーでも集団営農(大規模生産)方式にしてコストを下げて消費を図る。現在小規模すぎる
- 4. 漁業資源も少なくなるとのことなので、幼魚(シラス、小鱈、小鯖他網での漁獲)の捕獲禁止又は制限。
- ・ 宮崎の食物は本当に全てにおいておいしい。一番の魅力ポイントだと思っているんですけども認識されても良いと思っています。「発信力」が大切になってくるのでは…。宮崎出身のさえこさんのような発信力のある人の起用等(そういった方のSNS効果は本当にすごい)。
- ・ 県外の知人に宮崎の食材はおいしいと言われます。加工食品が増えるのもっと送れるのに、と思っています。食材そのものの良さにできるだけ近いものがよいので加工しすぎず(砂糖など使ったお菓子等ではなし!)、シンプルな方が喜ばれます。宮崎にも健康志向の方も多いので、地どれをアピールしてメディアでもPR(タウン誌で宮崎の食材を使った店の特集など)するとよいです。また、農林水産業を仕事にされる方の安定した収入も大事な事で、行政で補助やバックアップも続けていただきたいです。
- ・ 宮崎の農林水産業はとても素晴らしいと思っています。県外へのアピールが難しいのだと思いますが、物自体は本当に自信をもって良いものばかりですので、季節ごとに季節を感じる農林水産物を提供するようなサブスク等も面白いのではないかと思います。また、発展させるというより、宮崎から提案するような体制で取り組んでいってもいいのかなと思います。
- ・ 後継者の問題も出てくると思うが、若者の指導(世話)を公的に育てていく体制も必要だと思う。昔も今も若者は厳しい農林水産業にそむけているのでなくあわただしい世の中で、自分の歩く道も掴まえることができないままいるとか。宮崎で生まれ、宮崎で育った子供たち、豊かな南の国で、物を作る大人に育ててあげてください。これといってめばしい収穫もない県だが、若者がワイワイ言いながら、心豊かに安心して生きていける宮崎になればと思います。
- ・ 産品の付加価値向上のための加工などの共同経営を推進する
- ・ 有名ユーチューバーを使って宣伝してもらおう。全国版テレビCMに宮崎の食、住、観を流す。とにかく宮崎を知らない人が多い。全国の人に良き宮崎を知ってもらおう。農林水産業で働く若者をローカルや全国の番組やCMで紹介したら、やってみたくて県外から移住者もいるかも。
- ・ 宮崎にはおいしい食べ物がたくさんあるのに県外の方にはあまり知られていないことがとても多いと思います。色々なものを活用してPRしてほしいと思います。
- ・ 耕作放棄地が増える一方の状況下において、休耕地を活用が必要(農業法人などによる)
- ・ 米、野菜、魚、肉、果物、宮崎のものは全ておいしい安価です。県人はいつもおいしいものを当たり前で食っているので、特にそのおいしさを感じていないと思う。このことに敏感になる、口コミで広める。また、JAの「Mモーション」を多くの人に読んでもらう。私は農業のことは全く知らないかったが、どのようにして作物が育てられているか等良い学びができる。
- ・ 日本農業遺産、世界農業遺産の認定を受け、農林水産業の価値を高め、地域みんなで守り継承していく取り組みが必要。
- ・ 体験をし、もっとアピールを。地元の子供たちに興味を持たせることが発展していく一歩か。

「指定喫煙所の在り方」及び「美化推進区域・路上喫煙制限区域」に関するアンケート調査結果

◎ 調査の目的

現在、橋通りなどを美化推進区域・路上喫煙制限区域に指定し、その区域内に12箇所の指定喫煙所を設けているが、それらの今後の在り方について検討を進めている。また、中心市街地の活性化が進められている中で、美化推進区域・路上喫煙制限区域の今後についても、幅広く市民の意見を聞いたうえで、検討材料として活用するため。

◎ 調査の概要

- (1) 調査期間 令和3年1月22日 ~ 令和3年2月5日 ※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 184人 (郵送モニター119人、e-モニター65人)
- (3) 回答者数 167人 (回答率 90%)
- (4) 担当課 環境部 廃棄物対策課

◎ 調査結果

集計結果の構成比(%)は、端数処理の関係で合計が100%にならない場合がある。
回答数は、未回答または複数回答等の関係で合計が167人にならない場合がある。

問1 上記条例に基づき、橋通り、一番街、若草通りが『美化推進区域』と『路上喫煙制限区域』に指定されていることはご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 知っている	42	25.3%
2 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった	58	34.9%
3 知らなかった	66	39.8%

問2 上記図のとおり、市が橋通りと一番街に設置している12箇所の指定喫煙所をご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 知っている	35	21.0%
2 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった	50	29.9%
3 知らなかった	82	49.1%

問3 あなたは煙草を吸いますか。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 吸う ⇒問4へお進みください。	5	3.0%
2 吸わない ⇒問5へお進みください。	162	97.0%

問4 市が設置している12箇所の指定喫煙所を利用したことはありますか(利用する頻度はどのくらいですか)。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 ほぼ毎日利用する	1	20.0%
2 週に2~3回程度利用する	0	0.0%
3 週に1回程度利用する	0	0.0%
4 月に1回程度利用する	1	20.0%
5 利用したことがない、またはほとんど利用しない	3	60.0%

問5 指定喫煙所の利用者(上記表参照)は、平日の山形屋前が1時間当たり13人、宮崎ナナイロ(旧ボンベルタ橋)前が12人、また、昨年度の主要商店街通行量調査を参考に推計した、当該付近の通行者数は、1箇所1時間当たり約300~350人でした。この状況下において、これらの指定喫煙所付近で受動喫煙が生じていると思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 思う	85	51.2%
2 思わない	26	15.7%
3 分からない	55	33.1%
4 その他	0	0.0%

問6 今後、12箇所の指定喫煙所はどうあるべきだと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 全て撤去すべき	40	24.0%
2 一部撤去すべき	67	40.1%
3 全て撤去すべきでない	47	28.1%
4 その他	13	7.8%

問7 問6で選んだものの理由は何ですか。

例) 景観上ふさわしくないため

歩行者等が多い交差点などが撤去すべきだがそれ以外は残した方が良いため など

○主なご意見(多数意見順、類似意見集約)

- ・喫煙所は健康、環境、景観上良くない。迷惑だ。
- ・人通りの多い場所の喫煙所は撤去すべきだが、ぼい捨て防止のためにはある程度は必要。
- ・喫煙所があることで、ぼい捨ての防止に繋がっている。
- ・喫煙者の権利のために喫煙所は残すべき。
- ・ルールやマナーの周知徹底を図ることが必要。 など

問8 もし今後、指定喫煙所の全てまたは一部を撤去した場合、新たに屋外分煙施設等を設置した方が良いと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	構成比
1 設置した方が良い	56	34.1%
2 設置しなくても良い	84	51.2%
3 分からない	24	14.6%

問9 問8の施設等を仮に設置するとした場合、どのような場所にどのような形態のものが良いと思いますか

例) 現在設置している喫煙所を透明なパーティションなどで囲む

裏通りなどに現在設置している灰皿と同様のものを設置する など

○主なご意見(多数意見順、類似意見集約)

- ・換気設備を整えた中に見えるまたは見えないパーティション等の施設を設置する。
- ・裏通りなど人通りの少ない所に設置する。
- ・無駄に税金を使ってまで喫煙所を整備する必要はない、撤去すべき。
- ・現状のままで良い。
- ・有料式喫煙所や携帯用灰皿の自動販売機の設置。 など

問10 宮崎駅西口に大型商業施設などが整備され、今後、中心市街地の活性化が進んでいくことが予想されますが、中心市街地においてごみのぼい捨てを減らすために、どのような取り組みが必要と考えますか。

例) ごみのぼい捨て防止について、もっと幅広く市民等に啓発して周知徹底を図る

美化推進区域と路上喫煙制限区域を拡大する など

○主なご意見(多数意見順、類似意見集約)

- ・ルールやマナー等の周知徹底と啓発活動を推進し、日頃からの清掃で常に景観維持に努める。
- ・ごみ箱を設置する。
- ・取り締まり及び罰則の強化、路上指導員の配置、区域の拡大。
- ・絵や花壇等を設置し、ごみを捨てにくい環境にする。
- ・ごみ拾いイベントの開催や清掃ボランティアの募集。 など